

堂本彰夫

エッセイ集

～我が思い 漂えるままに～

じのん逍遥記

(総集版)

令和2年3月

## ○PART 1 の刊行にあたって

「東シナ海眺望記」に替わった本シリーズ（「じのん逍遥記」）もまた、引き続き「我が想い 漂えるままに」と題して、ここに「PART 1」という形で刊行することになった。ちなみに、「じのん」とは、私の住んでいる「宜野湾」の方言的な言い方である（多分そうである？）！

このシリーズは、これまでの「眺望記」が、基本的には、我が家（「岳陽舎」）の2階ベランダからの眺望（景色や、そこで生じる様々な想いを込めた！）を、それこそ「つれづれなるままに」書き綴ってきたのに対し、主として健康のために行っている、怪しげな？「ウォーキング」を、自らの「逍遥」と位置づけ、そこで去来する様々な想いを、下手な写真も織り込みながら、新たに書き記していつているものである！

なお、これも含めて、一つひとつの記事は、これまで同様、我が「岳陽舎」のHP上にアップした（or している）ものである！とにかく、引き続き、そちらの方も、楽しく？ご愛顧いただければ、誠に幸いである！

## ○PART 2 の刊行にあたって

「東シナ海眺望記」を引き継いだ、本「じのん逍遥記」もまた、「我が想い 漂えるままに」の題の下、ここに「PART 2」という形で刊行することになった。同じように、これも含めて、一つひとつの記事は、これまで同様、我が「岳陽舎」のHP上にアップした（or している）ものである！

ただし、本「じのん逍遥記」も、第40号をもって終了するので、この形の刊行は、これで最後となる！再び、このような形で、記事（作品？）を作成する日が来るかどうかはまだよく分からないが、もし、そういうことがあれば、その時はまた、楽しく？ご愛顧いただければ幸いである！

堂本 彰夫

※上記ホームページの URL 及びメール・アドレスは、下記の通りです。

いつでも、気軽に、ご覧下さい！そして、いつでもご連絡、お便りいただければ、本当に嬉しい限りです！

ホームページの URL⇒<http://www.gakuyou.jp>

メール・アドレス ⇒[gakuyou17@outlook.jp](mailto:gakuyou17@outlook.jp)

## 目 次

- 1 当分、「そぞろ歩き」は出来ないかもしれない?!それは、何故?!
- 2 宙に漂う?「二律背反」の島?!だが、逞しい「生き様」もある?!
- 3 旅先での「逍遙?」も、今の私には、絶対に必要である?!何故?!
- 4 今回は、本当の「じのん逍遙」?!だが、思うことはここでない?!
- 5 「疲れたら休め、…」?!何故かツルゲーネフが??だが、何と粋な?!
- 6 頑張れば報われる?!そんな思いを梅雨空に!だが、余りに個人的?!
- 7 今回も、結果的には「逍遙」となった?!その先に、嬉しいことも?!
- 8 と(飛?)んだ「名セリフ」?!と(翔?)んだ「取り合わせ」?!
- 9 本格的なウォーキングスタイル?!何と、私がリュックサックを?!
- 10 福岡逍遙?!ドーム、レトロな港町、そして友人らとの語らい!
- 11 違い過ぎる両面!自然は、それを繰り返す!眺める我何思う?!
- 12 今更「選挙のからくり」を?!だがそこに、それぞれの現実が?!
- 13 久し振りの独居老人?とにかく、暑さにめげず乗り切らねば?!
- 14 (特別編)台風禍の中で、沖縄での、年に一度の家族集合!
- 15 (続特別編)時の流れに、「家族」を想う?!月の満ち欠けの如く!~
- 16 再開?した「じのん逍遙」!その道すがらに、様々な想いが?!
- 17 「猫」が続くが、憧れしブーゲンビリア!我が家にも咲き誇る?!
- 18 暑さは続くが、着実に「秋」の気配?!とにかく、気を取り直して!
- 19 それぞれの「今」!そこにあるキーワードは、とにかく「納得」?!
- 20 新たな節目を迎えた、我が「じのん逍遙」?!だが、何の節目か?!
- 21 いよいよ10月!今年も、あと三か月!年度としては、あと半分!
- 22 「秋」だから?、ふとしたことで「国」について考えてみた?!
- 23 「蘇鉄」の先に「パトス」と「ロゴス」?!一体、どういうことか?!
- 24 再び独り暮らし?!会える時には会っておこう!これも「終活」か?!
- 25 初老の男は、「親爺ギャグ?」が好き?!実は、それは「照れロマン」?!
- 26 脆く、儚く焼失した沖縄のシンボル!そこに、「文化」と「公民館」?!
- 27 いわし、さば、うろこ雲?!それは、秋の季語とぞ!いかなる秋か?!
- 28 「播州」経由で「晩秋」を満喫?!だが、実際は複雑な旅でもあった?!
- 29 嬉しい出会い、再会もあるが、心重い部分も続く?!これも、晩秋?!
- 30 上野・浅草、そして箱根!最後に、痛み忘れて、魅入る富士の秀麗?!

- 31 何のための「逍遙（記）」か?!暮れ行く年に、戸惑う私?!されど…?!  
32 「令和元年」は、私にとっていかなる年であったか?!か細き城は?!  
33 何とも麗らかな初春! 史跡巡り?と言う名の、私の正月の旅?!  
34 新たな年もそこそこに?!されど、そは、自然の妙味?と共にある?!  
35 今年も既に桜の季節! 沖縄の春は、それで始まる!  
36 「如月きさらぎ」に想う、人の思いや情け! 新たな「春」を信じて!  
37 今回は、何故か「境」に敏感に?!だが、それは、ある意味必然か?!  
38 「元号」に、自らのアイデンティティがある?!それは、何故か?!  
39 せっかくの「春」だというのに、憂鬱な日々も並行する?!  
40 「眺望」から「逍遙」へ、そして最後は?、やはり「交流」へ?!

## 1 当分、「そぞろ歩き」は出来ないかもしれない?!それは、何故?!

今日は、5月7日(火)である。「平成」から「令和」への、慌ただしい(けど、それなりに意味があった?)移行(代替わり)の儀式(祭?)も、長いゴールデンウィークの経過と共に、静かに終焉を迎えつつある?!

新たな時代への心の高揚が続くのか、はたまた連休の余韻(疲れ?)が続くのか、人それぞれであろうが、今日から再び、かの日常が始まったわけである!儀式(祭)あるいは「ハレの日」とは、もとよりそういうものであろう?!

ただし、残念ながら?、私は、先の二つのどちらでもない!すべてが、相変わらずの?日常であった!

さて、先号で予告していたように、今号からは、名前を替えて、このシリーズを「じのん逍遥記」と題して、その相変わらずの?、私の日常や、そこに生起する小事件?(良いこと?)、そして、それに関わる私の所感や心情を、拙いエッセイと短歌と、そして、可能な限りの「現場写真?」を織り込みながら、綴っていきたいと考えている!



ちなみに、「じのん」とは、私の住んでいる「宜野湾(市)」の方言的表記であり(確か、そうだと思うが?)、ちょっと格好をつけてい

るが、「逍遥」とは、まさに、そこにおける「そぞろ歩き」のことである!

健康増進と言うよりは、直接的には、ある病の症状値?を下げるためであるが、どこを歩くにしても(原則は、ある「二つのコース」を想定しているが!)、そこに出くわす風景、人間模様等を、私なりの感性とユーモア?(多分?多くはエレジー風?!)で書き記していくということである?!

他の二つのシリーズ(「教育協働への道」と「古代史の旅」)との三部作という形は、今後とも続けていくわけであるので、そちらの方も、引き続き?よろしくということであるが、このシリーズの方も、改めてのご愛顧を頂ければ、誠に幸いである!

思えば?、本土では、今まさに風薫る五月、爽やかな風と鮮やかな新緑の季節であろう?!ただし、ここ沖縄(宜野湾)も、写真のような新緑の光景もあるのである!今日は、若干ぐずついた時間帯もあったが、さしずめ最後の?「うりずん日和」ということであろう?!

ところで、その「そぞろ歩き?」であるが、今回の動機は、かなり複雑であった!「目指せ1万歩!」(ほど良いのは8千歩らしいが?)なのではあるが、実は、病の次の診察日を書いた紙が見つからず、その日を確認するために、通っている病院の方の道を選択したのである!もちろん、電話で聞けば、それ自

体は解決するのであるが、そういう名目も、たまにはあってもよいであろうと思ひ、言わば「社会参画コース」（一部、逸れてはいたが！）を歩いたわけである！

要は、人通り、交通量も多く、否が応でも、人との出会い（すれ違い？）が、そこにはあり、自然を愛でたり、思索に耽ったりするというようなことは、基本的には出来ないということである？！

そういうことで、早速、最初の横断歩道を渡ろうとした時、思いも寄らず、前から歩いてきた小学生の女の子に、「こんにちは！」と声をかけられたし、また別の場所では、部活のロードラン中？の女子中学生にも、「こんにちは！」と、元気よくあいさつされたりもした！

ただそれだけであったが、何故か、そのことが嬉しかった（もちろん、感心もした！）！その他、公園で遊ぶ子ども達あるいは親子。路地でゆんたく？している、若い（幼い？）ママ友達。家業のバイク店で、客と話をしている店主。はたまた年老いた娘と母親？の外出風景等々。みんな、それぞれの生活を生きていた！そして、それは、今の私の、ある種の「社会参画？」でもあった？！

最後になるが、道すがらずーと、私の担当医の名前が思い出せなかったのであるが、病院に近づいたら、何故かすぐに思い出した！そう言えば、こうした現象（経験）は、これまでも多々あったように思う（本当である！）！記憶の妙とでも言えようが、みなさんは、どうであろうか？！

・ “じのん” とは 我が住んでいる まちのこと！  
ただ愛着は いかにある？！

・ “逍遥” に 思い託すは 初老？の暇人<sup>ひまびと</sup>  
ごくありふれた 気取りなり？！

・ 子どものあいさつ やはり良い！  
それがなければ つまらぬ歩き？！ 思いある故？！

（５月７日）

## 2 宙に漂う? 「二律背反」の島?!だが、逞しい「生き様」もある?!

今日は、5月14(火)である。まだまだ不思議と、沖縄は梅雨入りしていないのであるが(ただし、昨日は、最西端の島与那国町では、記録的な豪雨となっている!)、その兆候は、すぐそこにある(ひょっとしたら、「入っている模様?」というような発表が、近々あるかもしれない?)?!(この後、俄かにそうになっている?)

早速であるが、明日(15日)は、沖縄の「本土復帰記念日」である!確か、1972(昭和47)年のことであつたので、今年は47回目ということになる!ただ、最近では、何故か、その日はあまり盛り上がらない(マスコミも騒がない?)ようにも思える?!

最早、そのことが当たり前すぎて、ほとんど意味がないのか?はたまた、逆に?そのことが、件の基地問題のために、それこそ白々しい?というのであろうか?

果たして、それは、ある種沖縄の宿命のようにも思うが、私から見れば、その救い?は、そういうこととは無縁に?、今の(自分達の)沖縄を愛し、そこで普通に?頑張っている多くの若者(「復帰以降世代」?)がいるという事実である!

翻って、その沖縄の矛盾、二律背反(アンビバレンス)については、以前(と言っても、沖縄に来てしばらくしてからだったと思うが?)、下手な?「詩」に認めたことがある!

今も、その思い(分析?)は変わらないが、とにかく、それから、かなりの年数が経っている!「祖国」とか「母国」とかという言い方もあるが、一種の「デラシネ(根無し草)」「(学生時代に流行った言葉!)」状態が続いているのかもしれない?!

しかし、今の私も、ある意味?デラシネなのかもしれない?!とは言え、私のそれは、さしずめ?覚悟の上での選択であり、取り立てて何も言うことはない!ただ、47年も経った沖縄ではあるので、本来の、彼らのデラシネ?とは違う、私のような新たな?デラシネが、そこに生きているということも、心のどこかで受け止めて欲しいとは思っている?!



そんな中、過日、例の健康ウォーキング?を兼ねて、イノベーション Next<sup>+</sup>のS君に、事務局作業が終わって、ある秘密?の(この時期の、子どもの頃の思い出につながる?)場所へ連れていってもらった!

そこから我が家への歩程としたのであるが(S君の家は、この近くである!)、予想以上に、かなりの距離であつた(遠回りをしたこともあ

って、1万歩は超えて、しかも、かなりの起伏があった！）！その途中で見つけたものが、写真のバナナ（島バナナ？）の木である！まだまだ収穫には早いが、私には、何故か？沖縄らしさ、沖縄の遅しさ？を感じさせるものであり（私だけの変な感覚？）、下手なシャッターを切った次第である！

ちなみに、経路は、西原町→浦添市→宜野湾であったので、正しい？「ぎのん逍遥」ではない！

なお、その子どもの頃の思い出につながるものとは、ずばり「野苺」である（多分？この近くの誰かが本土から持ち帰って、植えたのであろう?!私の、あの懐かしい「野苺」は、基本的には、沖縄には棲息していない？）！

3年半前、ここ大謝名の地に引っ越して来た時、猫の額ほどしかない、コンクリート塀に囲まれた畑の片隅に、そこから小さな株を持って来て植えているのであるが（盗んだ？れっきとした犯罪？）、花は咲くものの、なかなか実をつけることがない！

沖縄の気候では、それが無理なのかもしれないが、その場所では（西原町のある公園の麓！残念ながら、そこは今、ほとんどが駐車場化されている！）、何故か、繁茂しているのである！

ということで、今年も、彼らは、緑々した、沢山の大きな葉を茂らせ、健気にも、追いやられた？崖側の陰地で、あの時と同じように、白い花を咲かせていた！もうじき、あの赤紫のおいしい実をつけることであろう?!しかしながら、それこそ子ども時代には戻れないので（つまり、恥ずかしいので!）、もう一度そこへ行って、挽ぎ、食べるというようことはしないであろう（多分?）?!

・ “本土” とは？ “復帰” とは？

宙に漂い 問う <sup>マブヤー</sup>魂？ 如何に向き合う?!

・ “おきなわ” らしさ 遅しさ？

他にもあろうが 何故バナナ？ 世代がそうする?!

・ 秘密の場所 子どもの頃の 思い出求め！

何とそれは 野苺なり！

（5月14日）



### 3 旅先での「逍遙？」も、今の私には、絶対に必要である?!何故?!

今日は、5月21(火)である。先号を書いてから、また、あっという間に1週間が過ぎてしまった！そして、沖縄も、いつしか梅雨に入り（先週後半?）、それらしき天候となっている！ただし、今日は、珍しく快晴で、梅雨時とは思えない心地よい涼風（少し強い?）が、我がベランダを吹き抜けている！

そんな風に大きく揺さぶられながら、今年も過日植えたプランターの胡瓜の蔓先が、準備しているポールの先まで一気に伸びて、もう少しで、その行先が無くなるほどの勢いである！途中で折れないかと心配しているが、これもまた、自然のなすまに見守ることしか出来ないであろう！

ところで、昨日、2泊3日の九州の旅?から戻った。一番?の目的は、今年で38回目となる「中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」への参加であったが、一度は身を引いた私であるので（もう5年位前?）、なかなか素直に?カムバックできないと思っていたが、今回は、ある思い（複雑な?）があり、懐かしい篠栗町の福岡県立社会教育総合センターに、空港まで迎えに来てくれた夜須高原青少年交流の家のI所長と一緒に、到着することが出来た！

知己の人達が、どんな思いで私を迎えてくれたかは分からないが、それこそいつものように?、多くの、それこそ思いのある実践家のみなさん達が、各地から来られていた（沖縄からも4人?）！



そんな中、次の日、お世話になった上記交流の家（別の懇親会?を開いてくれた!）を後にして（これまたI所長が、最寄りの駅まで自ら送ってくれた!）、当地に住む次女と、昼食をどこかだと思って、博多駅で待ち合わせをした！

だが、人の多さに圧倒され、その人込みを避けて、私の実家の方面のどこかに移動して、そこで食べようと決めた。結局、筑前前原という、古代史ファンならばご存知の所へ行った！駅前で食事を取ったが、少し時間があつたので、有名な「平原王墓（女性?を祀った周溝墓）」を見に行こうと、次女を半ば強引に誘った！

その王墓が上の写真であるが、今は何の変哲もない、しかも、まったく人気がない場所であった（何か、早朝に、そこで儀式がある時もあるそうである→「平原王墓祭り」）！

宮内省所管の「陵墓（参考地）」とされていない古墳は、ほとんどみなこんな感じで、ある意味侘しく佇んでいるのであるが、改めて、そこに、どういう人達が、どういう思いで、どういう生活を送っていたのであろうか?!専門的なことを多少言えば、多分彼らの後裔（の一部?）は、近畿（大和）に移動して



#### 4 今回は、本当の「じのん逍遥」?!だが、思うことはここでない?!

今日は、5月28(火)である。久しぶりの?どんよりとした空で、今にも雨が落ちてきそうな気配である!先週は、不思議にも、まるで梅雨が明けたように?、と言うより、梅雨入り前の、うららかな「うりずんの候」みたいであったが(本土の人達には申し訳ないが?)、昨日からは、流石に元に戻った?、ここ沖縄宜野湾である!

それにしても、湿気が凄い!だから、前方に見える東シナ海(湾)は、そうした梅雨模様の、ほとんど美しくない鼠色の霧に包まれているのでもあるが、手前の?プランターの胡瓜と茄子、そして鉢植えの自然薯の蔓と葉っぱが、無風のベランダで静かに佇んでいる!

ちなみに、今年の胡瓜の出来栄は、上々である(既に1本、大きくて瑞々しい奴をいただいている!)?!ただし、今後どうなっていくのかは、まったく分からない?!



ところで、昨日、これまた久しぶりの?、本当の「じのん逍遥」を行った!一部所定の?コースを外れたが、いわゆる「散策?コース」であった!

残念ながら、目標の1万歩には少し届かなかったが、馴染みの?宇地泊川の川縁(左写真)を下り、58号線に出て北上し、そして最後に、森川公園にも登り、帰路に就いた!とは言え、結局は?、完全なる「逍遥」とはならなかった?!

と言うのも、今回は、今悩まされている、古代史コーナーの新しい号の内容構想や一昨日のセミナー(第2回「教育協働セミナー」/参加者9人)のことをあれこれ考えながらも(これが、この「逍遥」でもある?)、福岡に住む次女のことを、何故か(ある意味当然か?)頭から離れなかったのである!

一昨日、福岡にいる私の友人から、彼女に会わせたい人がいるということで(ある種のお見合い話?)、その話を多少進めたのであるが、やはり唐突だったのであろうか?肝心の彼女からの返事がまだなく、少し焦っていたのである?

それは、そうであろう?!たとえ年齢は、十分過ぎるほどになっているにしても、そういう話に、そうそう簡単に応えられるものではない?!都合もあるし、心構えもない?!父親としての心配は、もちろんあるが、どうしたいかは、100%本人次第である!

そんなことを、つつい思いながら、過ぎ行く光景や、家路に向かう人や車を見遣っていたということである!何とも、ありふれた父親の心情・行動であった次第でもある?!

そんな中、58 号線沿いのある場所で、バス停を下りた若い女性に、いとも簡単に追い抜かれた！その時は、自分なりにピッチを上げ、通常よりも速く歩いていたつもりであったので、かなり複雑であった?!

後ろから見ると、さほど速くもないように見えたのだが、要するに、私の歩き（早歩きでさえ?）は、自分が思っている以上に遅く、まごうことなく高齢者?の歩きとなっていたということである?!次回は、何とかしなければ?!

それはともかく、世の中には、本当に奇特定の人もいるものである！上の写真の川縁（歩道は、すぐ横を通っている!）を、人知れず、世話をしている人（達?）である（多分?二人はいる!）！今回も、電動ノコで、不要な枝木を切られていたが（写真には入っていない!）、何とも頭の下がる思いである！

川は、少し汚いが（生活排水のせい!）、両側の木々は、綺麗に植えられ、一年中手入れされているのである！散歩道としては、最高である！

ちなみに、植えられているのは、桜、桑、バナナ等であるが（上流は、確か「保存会」のような人々が、「サガリバナ」と「桜」を植えている!）、その内の一人と昨年お会いした時に、その思いや苦労話?を聞いたが、小さい時に、田舎がそうであった！

だから、それが懐かしく、そして、そうすることが楽しいというようことであつたかと思う?!

ボランティアとか、地域貢献活動というような言い方があるが、彼らは、多分そういうことはあまり意識されていない?!ただ、そうすることが、自分の生活の一部であるということだけである?!

- ・ 不思議な入りも 今日限り?  
梅雨がなければ 作物実らず! それが自然?!

- ・ 様々に 想うことあるが 今回はただ  
次女<sup>よぎ</sup>のことが 沢に過る!

- ・ なにゆえ 何故に こんな川縁<sup>べり</sup> 綺麗にする?!  
理屈なぞなし そうしたいから?!

（5 月 28 日）

## 5 「疲れたら休め、…」?!何故かツルゲーネフが??だが、何と粋な?!

今日は、6月3(月)である。あっという間に、新しい年(月?)「令和」も一月が過ぎた!

先週から、ある意味当然?であるが、梅雨らしい天気となっている!とりわけ、昨夕は、かなりの雨(雷雨?)が降った!一晩中降っていたのかもしれない?!豪雨被害がなければ、それもよい?!



そんな中、先日、何とも粋な計らい?に出会った!左の写真を見て欲しい!こんなベンチ?が、何と国道58号線の歩道沿いに、ひっそりと?佇んでいるのである!

しかも、バス停のベンチならいざ知らず、ちょっとした灌木の中にスペースが作られ、ご覧のように置かれているのである!

るのである!

誰が、何のために、そんな場所に?私は、限りなく怪訝に思ったが、その美学(教養?)、人生の余裕に、ほとほと感心してしまった!使われている板が新しいので、多分?最近設置されたものであろう?!

ただし、それだけであったら、ここまで私は興奮?しなかったであろう?!字が判読できるかどうかは分からないが、背板の上部に、「疲れたら休め、彼らもそう遠くへは行くまいーツルゲーネフー」と書いてあるのである!

驚くなかれ?、かのツルゲーネフの言葉である!確か、ツルゲーネフは、『初恋』という小説を書いた作家だと思うが、まさか彼の言葉が、こんな所で、こんな形で紹介されていようとは?!

ちなみに、私は(柄にもなく?)、学生時代に、ジイドの『狭き門』、バルザックの『谷間の百合』の「純愛三部作?」を、ある時期夜明けまで?読み耽っていたことがある!ただ、残念ながら内容は、すべて忘却の彼方ではある!誠に、情けない話である!

いずれにしても、この言葉(台詞)が、どこにあるのか、まったく分からないが(見当もつかない!）、この歩道を歩くであろう見知らぬ誰かに、文脈はともかく、さりげなく、そしてウィットのあるメッセージとして、優しく送られているのである(穿った見方をすれば、本音は、そっと自分に言い聞かせてもいる?)?!

ちょっとしたジェラシー?も感じるが、これを書いた(作った)人は、本当に誰なのであろうか?この奥に事務所を構えている人なのであろうか?私は、おそらくこれからも、何度かこの道を歩くことになると思うが、その都度、必

ずここで一休みをして（沖縄では、「なかゆくい」と言う！）、しばしの美学に浸ることにしよう！そう思った次第である！

とは言え、これからは、沖縄はますます湿度も高くなり、気温も高くなっていくことであろう？軽いタッチのウォーキングではあるが、なかなか楽しんで？やることは難しくなる?!要するに、歩くのが嫌になるということである?!

しかし、とにかく一つの勝負は、6月11日である！その日の検査で、吉と出るのか、凶と出るのか？それによって、その後の動きも決まってしまう?!まだまだ、気を緩めてはいけない！今のところ、歩くしかないのである！

参考までに?、「疲れたら休め、彼らもそう遠くへは行くまい」を、私のシチュエーション（心情?）に置き換えてみると、果たしてどうなるのか?!まずは、「疲れたら休め」?ここの部分は、まさにその通りであろう（しかし、これは、ほとんど誰にでも言えること?）!

問題は、その次の、「彼らもそう遠くへは行くまい」である！ここで、「彼ら」とは、一体誰のことなのか?何かの「競走」でもしているのならば、その競走相手ということになる?!一緒に「旅」でもしているのであれば、その旅の仲間?であることになる?

他に、どんなシチュエーション（心情?）があるか?残念ながら、今は、それら以外には考えつかない?!否、ひょっとしたら、今追いかけているもの、あるいはやり遂げなければいけないと思っているもの、そういうものなのかもしれない?!

・ <sup>こくどう</sup>58号線に 何と粋なり!

そは誰の?! そんな<sup>よゆう</sup>美学が どこから<sup>い</sup>生ずる?!

・ 純愛三部作? 勝手に 名付けているが  
実のところは 分からない?!

・ 追いかけるもの? 果たしてそれは 何なのか?!  
今でもあるが 他愛なく?!

（6月3日）



## 6 頑張れば報われる?!そんな思いを梅雨空に!だが、余りに個人的?!

今日は、6月11(火)である。昨夜からの雨も、今も断続的に降り続けている!そんな中、今日は、ある意味待ちに待った?、3カ月ぶりの病院行きであった(血液検査)。

結果は、我が奥さんにも、よく頑張っていると褒められている(本当は、少し呆れかえられている?)、この「じのん逍遥」(実際は、単なる健康ウォーキング?)の努力の甲斐があつて?、かなりの改善があつた!素直に嬉しい。担当医も、少しだけ?喜んでくれた(そのように見えただけかもしれないが?)。

そして、である!何と、降り続けていた雨も、私が病院を後にする頃には、ご覧の写真のように止んでいたのである!ちなみに、この写真は、訪れた「コンベンションシティ(サンエー)」の4階駐車場から、西側の海浜公園方向を撮ったものである。実に、清々しい風景であつた!ちょっと気障?だが、この光景が、心なしか?、私の検査結果の改善を喜んでいるようにも見えた?



ということで、今日は、我が奥さんとの約束通り、病院が終わったら、歩いて、一人「コンベンションシティ」に向かい、最近によく訪れる「和風亭」で昼食を取った。お一人様(孤食?)とはなったが、今日ばかりは思う存分、糖分・カロリーを気にせず食べた(大好きな「かつ井とざる蕎麦」のセット!!)!

その前に、あまり欲しい品揃えではないが、これもまたいつもの本屋で、いつものように?古代史関係の本(文庫本)を買い、食後に少し読んで、おもむろに帰路に就いた!当然歩く距離は少なくなったが(それでも、トータルで8000歩は超えた!),結果的には、二つのコース(「社会参画コース」と「自然散策コース」)の混淆ウォークとなった!

ところで、写真の左後方に、浦添市と宜野湾市を結ぶ「西海岸道路」の北詰の大橋(そう言えば、まだ?この橋の名前を知らない!)が見えるが(小さくて見えないか?),この橋、この道路を使うと、空港までは、かなりスムーズに行けるので(しかも、眺めも良い!),いつもここばかりを使っている!

その手前の海浜公園にも、最近をよく出かけるが(結構、釣りをしている人が多い!しかも、たまに、かなりの大物も釣れている!),とにかく、近年開発されたこの地域が、今や私の生活圏域の一部になろうとは、予想だにしていなかったことである!

とは言え、それらを眺めながら、歩く途中で思うことは、やはり娘達のことや卒業生(ゼミ生)のこととなる?!そう言えば、先日(8日)、例のズーム(ク

ラウドミーティング) を使って、ミニミニ同窓会?を開いた。神奈川、大分、宮崎、そして沖縄の4点ネットであったが(都合8人)、みんなそれぞれ元気そうであった!電話やメールでは分からない、顔の表情等も分かるので、非常に楽しかったし、意義深かった!機会があれば、是非またやりたいものである!

ただし、彼らは、本当はどういう思い、状況で今を迎えているのであろうか?多くは、小学校の教師であるが、不安や不満が、多々あるのではないか?気になったのはN君であるが、とにかく、現在も交流のある卒業生、ほとんどない卒業生、そして、まったく音沙汰のない卒業生、いろいろいるが、彼らは、どうしているのであろうか?

自らの思い、持ち場で頑張っているものとは思いますが、なかには、まったく縁遠くなっているものもいる?!もし、そうであれば悲しい(哀しい?)限りであるが、それはそれで、仕方がないことは分かっている!

蛇足ではあるが、先号(5)で紹介した、国道脇の「ツルゲーネフベンチ?」であるが、ある税理士事務所の一角であった!数字(お金?)ばかりの世界の中で、どこかに人間味を求める?、ある税理士さんの機知であるとすれば、その人は、かなりの御仁であろう?!

出くわすことはないであろうが、彼の人生に祝福あれである!

- ・ 頑張れば 報われる?!  
そんな思いで 梅雨空眺める! 次はどうなる?!
- ・ 予想だに しなかった 生活圏域?!  
だが今は そこが居場所と?!
- ・ せっかくの縁 そして学び!  
そが繋がって いないとなれば 哀しくもあり?!

(6月11日)



## 7 今回も、結果的には「逍遙」となった?!その先に、嬉しいことも?!

今日は、6月20(木)である。例年からすると、もうじき沖縄は、梅雨が明けるものと思われるが、ここ数日は、断続的に、かなりの雨が降り続けている！大きな被害の方は、まだ無いようであるが、とにかく、近いうちに無事に？明けて欲しいものである！



とは言え、今もまた、左の写真のように、我がベランダからの光景は、海（東シナ海）が見えない、まったくの梅雨空である！

厚い雲に覆われ、あの生暖かい、じめじめとした空気が、辺り一面を漂っている！雨は、相変わらず、じとじとと落ちている！

というわけで、今日は（も?）、「じのん逍遙」とはいかないが、過日（17日）の、浦添市中央公民館への訪問が、私にとっては、結果的に、一つの「逍遙」となったので（2時間弱）、今回は、これについて、少し紹介しておきたい！

実は、この歩きは、同公民館が、急遽？やることになった「主催講座」の講師ということで、これまでまったく考えられなかった、徒歩での訪問ということであった！その意味で、これもまた、立派な？「逍遙」となったということである?!

そして、その途次、懐かしい？「浦添そば」（店の名前?）で昼食を取り、その足で、会場へと向かった。あいにく雨が降り出していたが、傘をさして、運動公園を左手に見て、てだこホール、図書館前を通り過ぎて、ぎりぎり時間に合った次第である。

しかしながら、これまでの同市との関わりを振り返りながら、いろんなことを思っの歩きであったことは言うまでもない！

講座が終わった後で、仕切り直しみたいではあったが、久し振りで、しかも折角だからということで、講座参加者と関係者の何人かで、懇親会（飲み会?）にも行った！

近くの、「大関?」とかいう名の「海鮮居酒屋」であったが、料理もまずまずであったため（料金も!）、気の早い参加者の一人?が、来月12日に予定している最後の講座の打ち上げ?も、ここで行いたいということになり、予約までしていた?!

何という乗りの良さかと思ったが、楽しい出会いだと思ってくれたのであらう?!大変、嬉しくも思った！



ところで、そのこととは直接関係ないが、左の写真は、我が家のプランターで育った、ユリの花である！正式名称は知らないが（奥さんに教えてもらったようにも思うが、今、正確には思い出せない！）、私の書斎？の机の上に生けてある！

この部屋には、ちょっと（かなり？）不似合いな気もするが、我が心を和ませてくれる、可愛い（ちょっぴり寂し気な？）一輪挿しである（本当は、「カサブランカ」を待っているのだが、一向に咲く気配がない？）？！

ちなみに、先程、来月予定されている参議院選挙の、ある候補予定者の宣伝（選挙？）カーが、家の前の道を、大きな声を出しながら通り過ぎていった！車体の横には、大きく「オキナワプライド」という文字が書かれていた！

そう言えば、明々後日 23 日は、沖縄では「慰霊の日（沖縄戦終結の日）」である！何故か、梅雨明けは、その頃であるように記憶しているが、「痛み」と「プライド」、その双方を叫びながら、沖縄の「夏？」が、これから本格的に始まることであろう？！

とにかく、その前の「梅雨」だけは、早く明けて欲しいものである？！

・ 梅雨の中            歩いて求む            浦添蕎麦！  
                                 懐かしさだけで            そこには行かぬ？！

・ これまでも            出会いし仲間            多けれど？  
                                 此度は違うと            おも 予感わすようでも？！

・ 梅雨明けは            もうじきか？  
                                 季節のそれは            そうであっても 明けぬものあり？！

（6 月 20 日）

## 8 と（飛？）んだ「名セリフ」?!と（翔？）んだ「取り合わせ」?!

今日は、6月24日(月)である。天気の間予報では、期待している「梅雨明け」は、まだまだ先のようなのである！しかも、何と天気図の下(南)の方には、「熱低」が発生している！去年は、「台風」が、本当(本島?)によく来たが、その「熱低」は、今後どうなるのであろうか？

いずれにしても、沖縄では、これからコンスタントに、その台風が襲来してくることであろう?!残念ながら、まったくの無通過ということは考えられないので、今年は、最少回の接近(上陸?)で終わって欲しい！そして、もちろん被害も、最小限であって欲しい！

そんな中、本日、久しぶりに？、まともな(正規の?)「じのん逍遥」を行った！いわゆる「逍遥(散策)コース」のそれであるが、今にも泣きそうな天候の下(事実、午前中は、ズーと雨が降っていた?)、今回は時計回りで、おもむろに我が家を出発した！

生憎の降雨で、石の坂道や水たまりが出来ている土の道路は、かなり湿っており、歩くのに少し戸惑うところもあった！特に、最後の「森川公園」の道は、歩きづらかった?!歩行距離は、大体、目安の8000歩強であり、一応最低限のノルマはこなせたようである！



ところで、今日も、例の「ツルゲーネフベンチ？」で、予定通り？一休みをした！幸い、ほとんど濡れていなかったのも、そこに座って一服していたら(ただし、左の写真は今日ではない!)、道路向こうの、二人の警察官が、門の前に立っていた！

門衛かと思ったが、不思議と？軽自動車が、立て続けに2台、彼らに声をかけられ、門の中に入れ込まれた?!最初、そこに用事があるものと思っていたが、思えば？、そこは、宜野湾警察署である！

例の「ベンチ？」は、その対面にあったのである！その時間(夕方6時頃?)は、多分「バスレーン規制」で、その2台は、運悪く？違反していた?!2人の警察官は、そのまま門の中に入っていったので、その後の違反車？は、何事もなく通過していった(何とも不条理な?)！

ということで、件の「疲れたら休め、彼らもそう遠くへは行くまい」は、ひょっとしたら、対面の警察署(官)のための言葉なのかしれないとも思った?!さしずめ、「彼らとは」、違反者(犯罪者)?、休むのは「警官」?だとしたら、とんだ興醒め?ものではないか?!まさか、そういうことでもあるまい?!



ところで、左の写真は、その宜野湾警察署がやっている（どこの地域でもやっている？）「こども 110 番の家（駆け込み寺？）」のステッカーである！

道すがら、結構目につくステッカーであるが、「地域の子どもは地域で守る」という形の、防犯ボランティア活動である！だが、やはり？あまり活用されていない?!

しかし、聞くところによると、宜野湾市では、3年前から、ハローウィンの日（その日がいつなのかは知らないが！）に、市内全域の学区（多分「小学校区」？）の子ども達が、そこを訪ねる行事（「セーフティツアーin ハローウィン」）を行っているという。

同市では、ある事件がきっかけで、市の防犯活動に役立てようと、普段あまり知らない（お世話になっていない？）、この「こども 110 番の家」を活用して、その取り組みを活性化させようということであつたらしい?!

ちなみに、この行事は、市の「青少協・市子連」の主催であるらしいが、その行事を提案したのは、市の「社会教育委員の会議」の委員であるそうである！なかなか、「社会教育委員の会議」も、普通には知られていないが、こうした、住民・子ども達への働きかけは、同会議の親しみ易さを高めるためにも、有効な活動であろう?!

・ 興醒めか？      とんだところに      それがある?!

されどその咎<sup>とが</sup>      文豪にはなく?!

・ ハローウィン      そんな効用      あつたとは?!  
                                          それでも事は      容易ならまし?!

・ 馴染みない      ものでも工夫      あつぱれか?!  
                                          だが地域には      それが必要?!

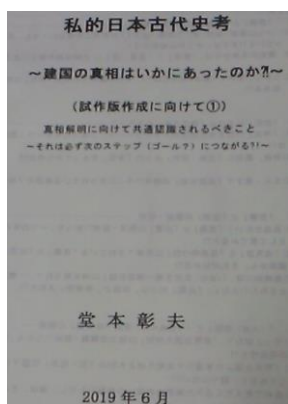
（6月24日）

## 9 本格的なウォーキングスタイル?!何と、私がリュックサックを?!

今日は、7月6日(土)である。それにしても、あつという間の、7月突入であつた!沖縄は、先日ようやく?待望の梅雨明けとなっているが(ただし、ここ数日は、何故か、梅雨に逆戻りしたようである?)、本土、特に九州(鹿児島・宮崎)の方では、今年もまた?豪雨、そして、災害に見舞われているようである!

自然の習わしと気まぐれ?には、何とも抗うことができず、ほとんど情けない気もするが、現地にあっては、何とか無事に済んでいって欲しいものである!季節は向暑のみぎり、それぞれ元気に乗り切っていければと思う!

ところで、先号(8)を書いてから、既にかかなりの日数が過ぎた!この間、まさに「逍遙」らしき歩きをしていない(出来なかった?)が、その原因であるが、梅雨明け後の猛暑と、多少の余裕の無さ?が、そうさせたのであろう?!



ただし、その余裕の無さ?は、何かの仕事?が多々入った訳ではなく、別コーナーの記事書き、とりわけ「古代史関係」で、かなりの時間と気力?を奪われたことによるものである?!

その甲斐あって?、そちらの方は、それなりの進展があつたが(その証拠?が、左の写真である!）、当然?新たな情報や課題に出くわし、この作業(仕事ではない?)の難しさ、底深さを、再び?思い知らされた次第でもある?!

とは言え、まったく歩きをやっていないわけではなく、例えば過日頼まれた、浦添市の中央公民館講座(社会教育指導員研修?)の行き帰り、そして、先日オープンした、浦添西海岸道路沿いの「サンエーパルコ(愛称?)」からの帰りでは(だが、まさかミーハー?よろしく、オープンセールに出かけたわけではない!結果的に、古代史関係の、面白い本を1冊買って帰ったが!）、かなりの歩行距離であつた!

ただし、双方共に、途中の光景を写真に収めることが出来ず、記事として書けなかった(前者は、携帯不所持!後者は、うだるような暑さと疲労?で、その気力なし?ほうほうの呈で、帰宅した?)!

そんな中、先日、我が奥さんと久しぶりに出かけた、沖縄市の大型モールでの買い物中に、ふと欲しくなつて?、小型のリュックサックを購入した!要は、本格的なウォーキングスタイルで?、頑張ろうとしているのではある?!

次頁の写真が、まさにそうであるが、これまでの私からは、とても考えられない「いで立ち?」となっている?!どうぞ?、笑いたい人は、大いに笑っていただいて結構である!



いずれにしても、ポケットにも入れず、手に何も持たずに歩けることは、予想以上に楽である?!我が奥さんに言わせれば、姿勢が良くなっているということでもある?!

なお、これから改めて、本格的な歩きをと考えている私であるが、9～11日は、何故か?福岡に行くことになっている(プロ野球観戦と高校時代の友人の命日供養?)!まずは、そちらの方で、カバーすることにしよう!

最後になるが、今(午前11時)は、まだまだ戻り梅雨?の天候なのであるが、しだいに雨も止み、気がついてみたら、この時期の風物詩?、クマゼミの協奏(狂騒?)が再開されている!

予報では、午後から曇りと出ているが、彼らは、それを察知してのことであろう?と思っていたら、また少し雨が落ちてきて、彼らの鳴き声が止まってしまった!

多分?彼らは、少し戸惑っていることであろう?!本当に、鳴いていいのかどうか?短い、彼らの命?せめて、思う存分、鳴かせてやりたいものでもある?!

・ 大雨よ! <sup>じねん</sup>自然の習わし それとも気まぐれ?

いずれとて <sup>あらが</sup>抗えず?!

・ ふと買った リュックサック!

どんな思いが そこにある? <sup>わけ</sup>理由ぞ分からぬ?!

・ 今年も クマゼミの<sup>こえ</sup>協奏!

折角の命 思う存分 鳴けばよい?!

(7月6日)



## 10 福岡逍遥?! ドーム、レトロな港町、そして友人らとの語らい！

今日は、7月13日(土)である。一昨日、多少は？涼しかった福岡から戻ったが(9～11日。目的は、プロ野球観戦と高校時代の友人の命日供養?)、それにしても、沖縄は暑い！でも、それも当たり前である！

その野球であるが、残念ながら？埼玉西武ライオンズは負け、今やプロ野球界の大物スター？、沖縄出身の山川穂高選手のホームランも出なかった(でも、次の日チームは勝ち、山川選手もホームランを打っていた！何と、残念なことよ！)！



さて、左の写真は、初めて訪れた福岡ヤクホクドームであるが、スポーツというよりも、ある種のエンターテインメントと言った方が、的を射ているかもしれない！とにかく、すべてが凄かった！

ちなみに、何故？私が、縁もゆかりもない、埼玉西武ライオンズのひいきなのかであるが、18歳までは、九州(佐賀県唐津市)で育ち、その頃は、ひいきのチームと言えば、今は亡き？「西鉄ライオンズ」であった！

故あって、チームは埼玉に移ったのであるが(身売り)、「ライオンズ」という愛称が、今なお心のどこかに、あたかも自分のアイデンティティの一つのように沈潜しているのであろう？！

地元(福岡・佐賀?)の人間は、もうほとんどが、その後、これまた大阪から移って来た「ホークス」(経営母体は代わったが)が、新たな地元球団として、名実ともに愛され、応援されているようである！本当に、子どもの頃の名前(愛称)とは不思議なものである？！

どちらにしても、ひいきということは、そういうことでもあろう?!私のものは、ある種の帰巢本能?なのかもしれないが、これもまた、デラシネの悲哀?と言えるのかもしれない?!ただし、それが、本当に切実な悲哀でないことは、本人自身が一番思っていることではある！

ところで、過日購入した、例のリュックサックは、もちろん持参し、“福岡逍遥”よろしく、それを背負って大いに歩きまくった(次頁写真は、門司港一角の西洋風レストランである。豪華すぎて、外からみるだけであった!)。生憎の小雨もちらつき、しかも、何と奥さんが楽しみにしていた遊覧船も、休店日であった！

そんな中、私の歩きとしては、3日ともかなりの距離ではあった！ただし、まとまって歩いたわけではないので(バス、電車、地下鉄、タクシー等も利用!)、

そんなに効用はなかったかもしれない?!

いずれにしても、やはり都会（福岡は、今や大都会である!）での、すべて歩きの旅は、人の多さと相俟って、別な意味での疲れは大いに感じた! 東京にいる時は、まったくそういうことはなかったのに? そういう意味では、改めて年を取ったということでもあろう?!



最後になるが、本当は、この旅?は、友人の命日供養という目的（大義名分?）で行ったのであるが、結果的には、我が奥さんとのプロ野球観戦、門司港観光、そして気の置けない友人、さらには次女との再会の時でもあった!

天国の友人には申し訳なかったが、初老夫婦の、久しぶりの二人旅でもあった! 生きている者の身勝手と言え、まったくその通りであるが、自分なりの人生を精一杯生きた彼でもあるので（多少? 早すぎたそれではあったが!）、そうした私達を、多分? 微笑ましく見てくれていることであらう?!

- ・     スポーツ       それともエンタメ?!  
          どちらでもある     今の野球!       だが勝負は別!
  
- ・     変わっても       何故に変わらぬ     “ふるさと” 意識?!  
                                  そもある種の     デラシネか?!
  
- ・     初老夫婦の       二人旅!  
          そんな光景     そこかしこ?!     出来る時にぞ!

（7月13日）



## 11 違い過ぎる両面！自然は、それを繰り返す！眺める我何思う?!

今日は、7月20日(土)である。弱い、大型である台風5号が、ここ数日、かなりの雨風を伴って、我が家を襲ってきた！今も、その余波？が続いているようである！だが、テレビを観ると、西日本、とりわけ長崎県の壱岐・対馬の方では、記録的な大雨となっているようである！

本当に毎年この時期、どこかで降雨被害があっている！とは言え、本格的な台風が襲来したならば、とてもこんな対応では済まされないであろう?!少しだけ、去年のことが頭を過る！

それにしても、去年は、本当に台風にやられた！今年も、これからそうなるのであろうか?!ちなみに、下の写真は、台風が来る前の、沖縄（宜野湾市）の青い空と海の光景である（違い過ぎる?!）！



ところで、昨日は、また別の逍遥となった！と言うのも、実は、通常のコースとは違って、宜野湾市役所から、喜友名・大山を経由して、歩いて我が家に戻ったのである！

考えてみると、広大な普天間基地の外周の半分くらいを歩いたことになるが、歩数にしてみれば、1万歩強で、

距離的には、思ったほど遠くはなかった?!

明日の参議院選挙の期日前投票と、研修のことで、多少？気になっていた教育委員会生涯学習課への訪問ということで、往きは、我が奥さんと一緒に車で行き、用事を済ませ、帰りは、私の我儘（「逍遥」）のために、一人で歩いて帰ってきた次第である！

残念ながら、時間帯が、世間の仕事終わりの頃で、歩く道（ほとんどが「パイプライン」!）は、かなりの車が往来していた！したがって、久し振りの、道すがらの光景を楽しむことも出来なかった！そんなに道幅があるわけでもなく、よろけたり（認めたくはないが、そういうこともたまにある私である!）、少しでも中央沿いを歩こうものなら、行き交う車と即座に接触する可能性は高かったように思う！

事実、ある場所で、後ろから来た車に、歩いていた腕を当てられた男性がいた！かなり痛かったかとは思いますが、私と視線があったこともあり、まるで何事もなかったように前に進んで行ったが、ある意味、とんでもない光景であった！気を付けてはいたのであろうが、運悪くその車は、ほとんどスピードを落としていなかった（若い運転手だった?）！どっちもどっちか?!

だが、そんな嫌な光景を見た中、その前に、一つの嬉しい出会いがあった！

かなり前の卒業生（愛称Kちゃんじゅん！ゼミ生ではなかったが、仲の良い？女子学生の一人であった！）が、宜野湾市教委の指導主事として、この4月から着任しているということであった！

道向かいの別棟にいることは分かっていたが、後輩に当たる？係長のMさんに、会いたいと連絡してもらったところ、急いで（飛んで？）会いに来てくれた！ほとんど学生時代と変わらなかったが、とにかく、あの頃の彼・彼女らが、こんな役職に就いているのである！嬉しいやら、眩しいやら？と同時に、やはり時は過ぎたのだと、つくづく思ったりもした！



そんなこんなで、これも、天気良かった過日、我が家の斜め前の斜面（雑木地）の木の幹で、残り少ない命？のクマゼミが、澄み切った青空の下、左の写真のように、つがい？で鳴いていた！シルエットにしか撮れなかったが（しかも小さい！）、私には、ある種の哀れを感じさせる光景、そして鳴き声であった？！

こんな瞬間を、よもや私が写真に撮ろうなどとは、夢にも思わなかったが、何故か、スムーズにシャッターが切れたのである（もちろん技術は最低であるが！）！

・ 違い過ぎる 空と海！

自然はそれを 繰り返す！ 我には<sup>あた</sup>能わず?!

・ あの頃の 学生達が こんな<sup>すがた</sup>立場！

嬉しくもあり！ 眩しくもあり！

・ 後少し？ 残された日々を 鳴き通せ！

<sup>なつ</sup>盛夏を告げにし 役目を終えて?!

（7月20日）

## 12 今更「選挙のからくり」を?!だがそこに、それぞれの現実が?!

今日は、7月24日(水)である。連日のうだるような暑さの中で、午後から少し薄曇りになったので、意を決しての「じのん逍遥」を行った!

今回のコースは、多少?久し振りに「社会参画コース?」をと思って、58号線を横切って、「宜野湾マルシェ」のある所まで行って(下りて)、そこから横に、「海浜公園(体育館・市民球場等がある)」を經由して、「トロピカルビーチ」に行った。

そこで、今の私には眩しすぎる程の夏の光景をみて、次の「ヨットハーバー?」を右目に見ながら、そして、しばしの涼を求めて、「コンベンションシティ(サンエー)」に入った!

どこかで見ようと思って、用意していった原稿の一部を、そこで加除修正して、時間もかなり過ぎたので、そのまま前の坂道を登って、我が家に着いた(午後7時過ぎ!)

歩行距離は、1万2千歩弱であった(左下の写真は、大山地区の、58号線と下にする道路の交差点から撮ったものである!本当に、行き交う車で賑わっていた!ここは、ある意味「社会参画」の最前線である?!)!



ところで、先一昨日(21日)は、参議院選挙であった!予想通りの結果に終わったが(県内、県外?双方共に!）、一つだけ気になったのは、投票率が5割を切ったことである!

もちろん、投票するかしないかは、有権者のまったくの恣意(哲学?)に委ねられるわけであるが、そしてまた、実際に投票したい人や政党がなければ、棄権もあり得るということになるのであるが、そこが「選挙」のミソ(からくり?)であり、その行為が(も?)、結果的に、投票結果を後押しすることになる!

逆に言えば、選挙戦を戦う側からすれば、それもまた味方(あるいは敵?)になるということである?!

いずれにしても、以前どこかで書いたことがあるが、自分は投票していないので、彼ら(当選者)がどのような言動を取ろうとも、自分には関係(責任?)がないと思って(言っても!)、実は関係してくるということである?!

もちろん、多くの人は、それを承知で投票しないのであろうが、ここを何とかしなければ、真の政治も、はたまた正義も、はなはだ心許ない?!認めたくない現実、参加したくない現実であっても、まずは、そこからしか動かない?!

ならば、その認めたくない現実の中で、少しでも認められるものがあれば、

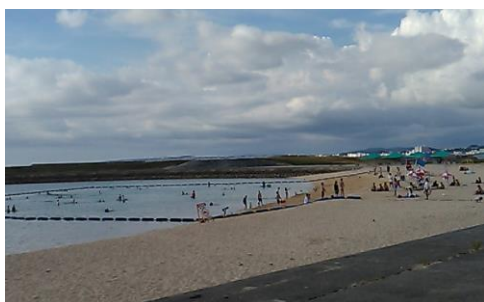
そこを大切にしてい（動かしてい？）しかない?! そう思いながらの、道すがらでもあった！

ということで、その紡ぐ力が、市民力・人間力というものではないか?! 選挙権が 18 歳まで下ろされたが、そこで一番大切なことは、そうした市民力・人間力を、たとえ認めたくない現実の中であっても、個々人が、自らの思いと行動で紡ぎ出していくプロセス（努力?）が、そこにあるかどうかである?!

即自的・表面的な結果も、その時は大切であろうが（特に、マスコミにおいては!）、そこを問わなければいけない！

敢えて言えば、たった? 半分の人達の意向によって、その全体が決まるというからくり? が、選挙にはあるということを、誰かが、きちんと言い続けていかなければいけないのである?!

しかし、そうは言っても、具体的にどうすればよいのか分からない（行動に移せない?）のが、もう一つの現実でもある?!



左の写真は、まだ最盛期のビーチではないが（休日ではないということもある?）、そこで、友達と楽しい一時を過ごしている若者達を見て、それでいいのだとも思った！

ただし、そこには、何か隔たりのようなものも感じた?! だが、それは、気のせい（盛夏?）?!

・ それぞれの現実!      いずこに      その結び目ある?!  
選挙がそれを      さし示す?!

・ とっかえひっかえ      出て来る<sup>たらい</sup> 盥?        
浮かばすプールは      それ自体      危ういのにな?!

・ ビーチの賑わい      それで良い!        
楽しさ求めて      何悪い?!      そもそも現実?!

（7 月 24 日）

### 13 久し振りの独居老人？とにかく、暑さにめげず乗り切らねば？！

今日は、8月1日（木）である。何やかやと、いつもよりは、多少？忙しい日々とはなっているが、そうこうしている内に、再び新しい月（8月）を迎えた！気がつけば、クマゼミの鳴き声も、ほとんどなくなっている?!彼らは、どこに行ったのか?!

月並みではあるが、何と速い、時日の過ぎ去りであろうか?!かの松尾芭蕉は、「月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人也！」と言った（詠んだ?）そうだが、まさに、そういうことなのであろう?!ただし、それは、間違いなく？老境の謂いでもある？

月日のことを、「百代の過客」とか、「旅人」とか、とてもそんな風には思えず（単に文才・詩心がないだけかもしれないが?）、気がついてみたら、そうになっているというだけである?!そういう意味では、私は、まだまだ老境の身ではないということである?!

そんな中、今、私の生活は、ある意味「独居老人風？」ではある?!何故かと言うと、久し振りに？我が奥さんが、宮崎県（小林）の長女一家の所へ、「お助け婆さん？」をしに行っているのである！

先月 28 日から、今月の 4 日までの 1 週間であるが（通常より若干短い?）、この間、まったく生活能力のない？私は、最低限の衣食住を、まさに孤軍奮闘でこなしている次第なのである！

それにしても、このところ、本当に暑い日が続いている（最高気温的には、本土の方が高くはなっているが!）！台風も、そろそろ本格的に、ここ沖縄を狙ってくるであろうが、とにかく、暑さにめげず乗り切らねばならない！



ところで、左の写真は、過日訪れた散策道の片隅に咲いていた（正しくは、花が落ち、実?が膨らみつつある）、沖縄に来て、かなり時日が経って名前を知った「ドラゴンフルーツ（サボテンの一種?）」の雄姿?であるが、何故か、写真に収めたくなかったものである！

中身の果肉は、かなり気味が悪い?、濃い紫色をしているが（私からすれば、それを売りにしている人には申し訳ないが、さほどおいしいとも思えない?）、多分?ここのそれは、いわゆる出荷用のものではなく、庭木の一つとして植えられているものであろう?!

そんな散策の一方、左下の写真もまた、過日の、最近ではよく訪れるようになった、コンベンションシティ前の「海浜公園?」（多分、そうだった?）突端の東側の光景である！釣りをしている人もいるのであるが、最近では、何故だ



か？、写真のような水上スポーツ？をやっている若者？も多く（もちろん水上バイクも！）、当日は、若い女の子？が、アクロバットよろしく、上下、左右に自在に動き、驚くなかれ、とんぼ返りの技までやってのけていた（残念ながら、遠方のタワーと重なっている？）！



これまでは、どうして、そんなことまでして遊ぶのか？という思いもあり（古い人間なので？）、ほとんど無関心であった私であるが、この時ばかりは、本当に魅入ってしまったのである？！

その時は、何でそうしたことが出来るのか？、その驚きの一言であったが、傍のボートと頑丈な？ホースで海水を吸い上げ（メカ自体は分からない！）、それを受けるボード？に人間が乗って、自由に動いているのである（実際、とても難しいことではあろう？）？！

「何と言うことだ！」「何でこういうことまでやれる時代が来たのだ！」、そう思いながらの帰路であったが、今の私は、そういうことよりも、この暑さにめげず、何とか一人で乗り切らなければならない！ただ、それだけなのではある？！

・ “月日” をば “過客” と呼ぶは その人の  
生き様示す 旅の業<sup>わざ</sup>？！

・ 食べたいと 思いはしないが 惹きつける？  
南の島には 不思議な果実が？！

・ 名前も知らない 奇妙な遊び？  
何で そうしたことが できるのか？！

（８月１日）

#### 14（特別編）台風禍の中で、沖縄での、年に一度の家族集合！

今日は、8月13日（火）である。世間？で言うところの「お盆の入り」（沖縄では「ウンケー（お迎え）」と呼ぶ！）である。今年は、沖縄ではこちらの方が一般的であるが、いわゆる「旧盆」の期日と重なり、それらしき雰囲気醸し出されている！

夜になると、近くの公民館？から、地域のお盆行事「エイサー」の練習音が流れていたが、この地域（上大謝名地区）は、明日が、本番？「道ジュネー（エイサーの練り歩き?）」となっている！昨年も書いたように思うが、引っ越して来て3年半が経つが、ほとんど縁がない（地元？の人には悪いが?）?!



ところで、現在、お盆休みということで、娘達（+孫3人）の、いわゆる「帰省」ラッシュとなっている！

一昨日が、三女と長女（+孫一人）、昨日が次女、そして、明日（13日）が、長女の旦那（+孫二人）といった塩梅である！

当初は、生憎の台風（9号）の襲来で、飛行機の運行が非常に気になるところ

ではあったが、無事到着し、久し振りの再会を楽しんでいる（左上写真。珍しく？私がシャッターを切っている!）！明日も、多分、大丈夫だろう?!

とは言え、15日の、三女の帰りの便が、台風10号の影響で、難しいかもしれない?!いつもの通りと言え、そうなのであるが、この時期の台風の襲来は、本当に困ったものなのである！

ささやかな、年1回の、沖縄での家族全員の集合は、私にとっては（もちろん我が奥さんも?）、何とも平凡ではあるが、ある意味？無上の喜びであるからである（ただし、忙しい?）！

とは言え、今回は、また別の意味で、困ったものである?!先号（13）で書いていた、私の奥さんが、無事？宮崎から戻ってきたのはよいが、次の日から、具合が悪くなったのである！

クーラーが良くなかったのか、風邪?を引いたみたいで、今もまだ、軽い咳を連発している！この間、10日余、優しい、そしてよく世話をしてくれるおばあちゃん?として、フル回転しなければいけないわけであるが、何とも複雑な光景である?!

なお、私も、ちょっと厳しい?「おじいちゃん」として奮闘するつもりではあるが、やれることは、まったく比べ物にもならないことは、自他共に認めるところである?!早く全快して欲しいものである！





さて、こんな状況なので、私の「じのん逍遥」は、今回もまだ、不発？に終わっている！暑さのせいもあるが、何と言っても、そんな心境にはなれないのが原因である？！

人間（私？）は、多少寂しい？時でないと、「逍遥」はしないし、文章（随筆？）も書けない？！だから、今号は「特別編」としたのではあるが、いささ

か面映ゆいのが、本音である！

ともかく、天気良ければ、暑さが厳しく、（台風の影響で）天気が悪ければ、外にも出れず、言わばその繰り返しで、かなりの停滞を余儀なくされているわけでもある！早く「逍遥日和？」にならないかとも思うが、天気図を見ると、それも、しばらくは難しいようである！

そんな中、一昨日の夕方、近くの公園に、一番下の孫を連れて出かけた！私にとっては、ミニミニウォークであったが、新たな発見もあった！上の写真は、その公園に聳える「ガジュマル」の木である！改めて見ると、何か？今の「沖縄」を象徴しているようにも思える？！

- ・ <sup>こどもら</sup>娘達が 来るのは良いが <sup>きがかり</sup>心配も多し！  
ただその原因の 多くは台風？！
- ・ せめて筋トレをと 思いはするが それも難し？  
どこかに漂う さぼり心？！
- ・ 楽しい一時 台風の如く 来て去る？！  
こんなこと あと何回あるか？！

（8月13日）

## 15（続特別編）時の流れに、「家族」を想う?!月の満ち欠けの如く！

今日は、8月21日（水）である。19日に、最後に残っていた長女一家（5人）も、宮崎に戻り（ミニ台風一家→一過?）、相変わらず暑くはあるが、静かで、平穏な日常に戻っている！

これで、我が家の、夏（お盆）の恒例行事?、年に一度の「沖縄全員集合」が終わったことになるが、それにしても、あっという間の10日間であった！

ある時期まで、一緒に暮らしていた家族（娘達）であるが、今は、ある意味当然のように、別々の地に帰っていく！月日が過ぎるということは、そういうことでもあろうが、娘達（孫も含めて!）の帰りを、心待ちにしている親にとっては、何とも複雑な（哀切な?）時の流れではある?!

いろんな家族形態があるであろうが、こうして、束の間の再会を果たし、再びまた、それぞれの、現在の生活場所へと帰っていく！



左の写真は、その最後の場面の一コマであるが、孫達の、屈託のない笑顔はともかく、見送る我々の顔は、多少寂しげではある（私だけか?）?!

こんなことを、後何回繰り返すのか?今のところ数えようもないが、確実に、私（達?）の体つき、容貌は変わっていくことであろう!そして、多分孫達は、この絵面にはまり切れないほど、大きくなっていくことであろ

う!

そんなことを思いながらの見送りであったが、一方では、これで、かき乱された?我々の日常が戻ってくる、とりわけ、まだ喉の調子も今一つである我が奥さん（おばあちゃん!）の奮闘も、これで終わりとなる!

ご苦労さん!本当に、おばあちゃん存在は、私が言うのも変だが、偉大である（ただし、沖縄の「おばあー」には負ける?）!そして、感謝である!

ところで、次頁の写真は、家族全員（9人）が揃った、13日の夜の「満月」の写真である!2階ベランダで行ったバーベキューの時に、

東の空を見上げた孫の一人が、「あっ!満月だ!」と叫んだのであるが、振り返って見た私は、その時の月の情景が妙に気に入る、我が奥さんのスマホで、その満月を撮ってもらったのである!

しかし、残念ながら、今日改めて、メールで送ってもらって（こんなこともやってもらっているのです!）、ここに張り付けたのであるが、やはり生の光景とは違って、その美しさ（妖しさ?）は、ほとんど感じようもない?!

それはそれで仕方がないが、暦としての「月」は、毎日その姿を変えながら、

我々の天空上を動いている！



まだまだ？、その月を愛でる程、風雅な感性は持ち合わせていないが、ただ、その満月のあり様が、今の私の心情に、何故か似つかわしく思われ、敢えて載せた次第である！

それは、我々家族の日々の生活状況が、月の満ち欠けにも似て、いい時もあり、苦しい時もある（敢えて悪い時という言葉は使わない！）ということであり、その無事な再会が、「満月」の時であろうということである？！

最後になるが、10 号の後、しばらく台風の音沙汰がなかったが、またやおら南方海上に姿を現すようである！来週（28～31）、佐賀の方へ出かけることになっているが、その影響はどうなるのであろうか？！

久し振りに、蒼碧の海が眼前に横たわっているが、これもまた、四季の移ろいの一コマであろう？ただし、やはりまだそれは、明確なそれではない？私の心が、そう思わせるだけなのである？！

とにかく、私にとっては、今は、明確な夏の終わりなのではある？！

- ・ <sup>こどもら</sup>娘達と <sup>とき</sup>一緒に時間は まさに束の間！  
何故に今は そうなのか？！
- ・ 家族が生きるは ということ？  
そこにある <sup>よろこび</sup>喜怒哀楽は 月の満ち欠け？！
- ・ 明確な 四季の移ろい 見えずとも？  
心で感じる 夏の終わり？！

（8月21日）

## 16 再開？した「じのん逍遥」！その道すがらに、様々な思いが?!

今日は、8月26日（月）である。そろそろ、世間の夏休みモードも終盤となり、時の流れは、それをも飲み込み、あっという間の月末となっている！暑さは相変わらずであるが、ちょっぴり？秋の気配を感じさせる、南東からの湿った風が、午後のベランダを吹き抜けている！

先日「満月」を見たその方位には、よく晴れた青空が（雲は少しかかっているが!）、上部を切り取った雑木の上に、ほんの少しだけ見える！良い天気である！

そう言えば、教員採用試験の一次結果も発表され、残念ながら、我がNext+の主力メンバーの一人は、再び来年を期すことになったが、もう一人の方は、無事、昨日二次試験を終了したようである！

感触の方は、昨年よりなさそうであったが、多分？大丈夫であろう（大きなミスがなかった?）?!他のメンバーからの慰労のメール（ライン）が交わされ、それはそれで、一つの微笑ましい光景？であった！ただただ、今は吉報を待つだけである！



ところで、左の写真は、昨日、やっと再開した（次の「検査日」が近づいている!）、本格的な「じのん逍遥」の途上で出くわした「猫」であるが、「森川公園」という所の上り坂の、ある柵杭での光景である！

とにかく、この公園は、以前から猫が多く住み着き、至る所で、その姿を見かけるのであるが、こんな格好で、しかも、私が、それなりに近づいても逃げずに、泰然としているのである?!

とんだ野良猫？であるが、元来は猫好きの私であるので、何故か親近感が沸き、一度そっぽを向かれたが、声を掛けて、こちらに振り向かせてのショットとあいなった次第である！

顔の表情がほとんど分からないのが、若干？申し訳ないが、何となくエレジーを感じさせるものであった?!ただし、彼（彼女?）には、さぞかし変なウォーカー（老人?）に見えたことであろう?!また、会えるであろうか?!

そんな彼（彼女?）と分かれて、不思議な充実感？を覚えながら、その坂を上り切ると、頂上（低い!）の展望台と芝生のグラウンド?に着いた！そこには、遠目には微笑ましい、何組かの若い家族連れの光景があった！

しかし、近づいてみると、子ども達は水着姿で、持ち込んだであろう家庭用のプールには、それこそ一杯の水が貯められていた！それだけならよい?のであるが、蛇口の水は、あたかも噴水のように、ひっきりなしに流れており、子ども達に、シャワーのように使われていた！

ちらっと見たが、蛇口に何かかが巻き付けられていた！水不足を心配してのそれではなかったが、その親たちの行動規範に、ある意味さめざめとしたものを感じたのである！

子ども達は、さぞかし喜んでいたであろうが、私には、とても複雑な光景であった！これもまた、沖縄の一コマなのであるか?!



ところで、左の写真は、その森川公園からの、上の帰り道の道すがらであるが、高いフェンスの下に繁茂しているのは、近くの住民（おじさん？）が手入れをしている「私設歌壇？」の草花である！

季節の花々が、そこに植えられているのであるが、実は、そのフェンスは、あの「普天間基地」のそれである！

殺風景なフェンス下に、たまたま土があったので歌壇にしたのであろうが、騒音で結びつく関係ではあるが、花々によって、また違う雰囲気味わおうという、ささやかな住民の想いが、そこにはあるのかしれない?!

とにかく、これからも、精一杯楽しませていただきたい?!そして、花達よ！いつまでも、凛と咲いておくれ！

・ 今回もまた あっという間の 時日の流れ！  
やるべきことも それに連なる?!

・ 公園の <sup>ねこ</sup>野良猫に寄せる 我が思い  
見たくなかった 光景が消す?!

・ かの基地と 隣り合わせの 季節の<sup>はな</sup>花々！  
どこに咲こうと 凛とあれ?!

（8月26日）



## 17「猫」が続くが、憧れしブーゲンビリア！我が家にも咲き誇る?!

今日は、9月3日（火）である。長かった？8月も終わり、それとなく9月に突入した！考えてみれば、今年も、後4カ月ということになる！私にしてみれば、一日一日は、とても長く感じられるが、過ぎ去ってみれば、あっという間の月日の経過である?!

再び台風が、南海上に発生し、週末には、また沖縄に向かって来るようであるが、そしてまた、その予備軍も、いくつかいるようであるが、その台風の襲来も、今月が一番多いことであろう?!残念ながら、先週は、豪雨のため、幻の佐賀行きとなったが、当地では、さぞかし大変であったろう！

そんな中、関係者の人達には申し訳ないが、福岡までは行けていたので、そこで同行の人達と一泊した！帰りの日、知人から「アジア美術館」を紹介され、そこを訪れたが、展示品にも驚かされたが、ジャコウネコのコーヒーには、さらに驚かされた！

値段は、かなり高かったが、話のタネに、飲ませて頂いた！参考までに、ジャコウネコは、美味しいコーヒーの実だけを選び好んで食べるそうで、糞として排出された豆をよく洗浄し、乾燥させて、コーヒーにするそうである！とんだ（一応、飛行機も飛んだ!）、福岡への旅でもあったわけである！



ところで、左の写真は、例の「逍遙?」の行きがけに撮った、我が家の門？脇の「ブーゲンビリア」の咲き様である！

沖縄に来て、花で一番沖縄らしいと感じたのは、実は、そのブーゲンビリアなのであるが、至る所で、庭の生け垣に植えてあるその花が、美しくもあり、羨ましくもあった?!こ

この大謝名の地に引っ越して来てから、狭い土地なのではあるが、我が奥さんとも意気投合し、現在の場所に植えたものである！

去年の、度重なる台風の襲来で、目論んでいたアーチ型の花門は、残念ながら実現できていないが、その代わり、今年は、枝葉も増え、そのようになっている次第である！花の色も、それこそ、とりどりにあるのであるが、やはりこの赤紫のものが、一番気に入っている！

遠くの空の青と雲の白、その下に横たわる東シナ海の碧い海の色、そして太陽の光が、うまく融合し、普段はまったくそういうものには執着がない私をして、何か写真に撮ってみたいという衝動を誘ったのである！いつものように、写し具合は悪いが、こうしてみると、まんざらでもない（私の家ではないみ



たいだ?)?!



一方また、左の写真は、過日歩いた、「森川公園」前の県道（「パイプライン」のバイパス？）の側道である！

一応、歩道として整備されているのであるが、何故かそこだけが、ご覧のような惨状なのである！まるで、その先は行き止まりのような恰好であるが、その先はまた、普通に整備された歩道が続いているのである?!

よくある光景と言え、そうなのであろうが、そこを歩く人が、ほとんどいない（不便に思う人がいない？）ということであらう?!

何故、その場所を写真に撮ったのか？すぐ左の車道は、バイパス的な役割があり、かなりの交通量なのであるが、何とも不思議な情景に見えたのである！沖縄の植物の繁茂力は凄いので、このままでは、じきに歩道を遮蔽することであらう?!それとも、誰（どこ？）かが、刈り取ってくれるのか?!

とにかく、同じ植物でありながら、愛でられるものと、迷惑がられるものがある?!そんな、どうしようもない想いを抱いた、この時の歩きでもあったということである?!

- ・ 飛んだ?! 福岡への旅！  
それにしても 猫コーヒーマデ 飲むとは?!
- ・ 我が家にも 咲き誇る その花は  
これまで憧れし ブーゲンビリア！
- ・ 同じ植物で ありながら 愛でられるものあり！  
迷惑がられるものあり?!

（9月3日）

## 18 暑さは続くが、着実に「秋」の気配?!とにかく、気を取り直して！

今日は、9月12日（木）である。それとなく突入した9月であるが、もう既に、半ばに達しようとしている！この間、幾つかの台風が通過し（沖縄本島への直撃はなかったが！）、何度か、強風や降雨に晒されてきた！お陰で？、我が「じのん逍遥」も、ほとんど不発で、思ったほどの成果も出なかった?!

一昨日訪れた、3カ月ぶりの検査では、件の数値が若干悪くなっていたということであるが、前半は、かなり頑張ったの「逍遥」であっただけに、それなりのショックではあった（せめて、現状維持であって欲しかった?）！ほんの少しの違いではあるが、その差は、かなり大きいのである?!

実は、ここ数年間、今回の数値（危険度が増す?）の前後を、結果的に?行ったり来たりしている私なのでもあるが、それでは、本当にやばいことになってしまうかもしれない?!そのことを、改めて感じさせたのが、今回の結果でもあるが、やはり?これまで以上の努力と気力で取り組まない（克服しない）といけない!そう思うのでもある！

これから、徐々に涼しくもなるので（途中台風の襲来もあろうが?!）、再度気を取り直して頑張っていこう!そしてまた、新たな試みも?!ただし、それについては、今のところ内緒?にしておく！



さて、左の写真は、そんな悲痛な?決意を胸に、昨日通った、例の、宇地泊川岸の桜の状況である！

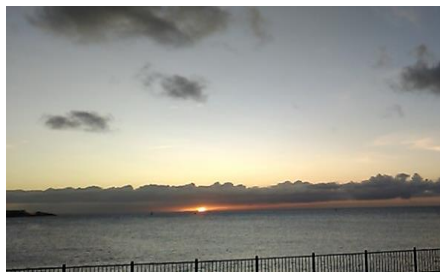
桜は、確か落葉樹ではあるので、秋になると葉っぱも枯れ落ち、何か物寂しい風情となるのであるが、その河畔の桜の木々が、まさにそれであった！

ただ、この写真だけでは、その物悲しさは、ほとんど伝わらないであろうが、沖縄にも、こうした秋の風情もあるのであり、今の私には、何故か?、そうした秋の気配を積極的に感じたい?心情が、心のどこかにあるようにも思われる?!

その時は、まったく気がつかなかったが、青空と、少しだけ浮かぶ白い雲が、その秋を、確実に?指し示しているようにも思う?!ここにきて、四季をすべて満喫しようとは思わないが、ただ「秋」だけは、別格である?!

その後、その秋を、ある意味無理矢理?感じながら、いつものように、下に入り、58号線を横切って、牧港川?の河口を左に見ながら、突端の「海浜 or 岬公園?」まで、一気に下りていった!平日とは言え、夕方には、様々な人々が、この公園を訪れていたが、その時の私は、何故か?落日前の光景しか興味が湧かなかった?単純には、ただ美しかっただけであるが、私のエレジー心に

火が着き？、その光景に、ここ数日の憂鬱を重ね合わせたのである?!何とも浅はかな？初老の「逍遙」であるが、それもまた、この歩きのねらいでもある?!



ちなみに、左の写真は、その、秋の落日をカメラに収めたくて、必死で撮ったものである（今までそういうことはなかった!）!

下の黒い雲の上にあった時の太陽が、一番美しくあったのであるが、残念ながら、私の携帯（ガラケー）では、まったくそれに応ずることは出来なかった?!

スマホも含めて、携帯では、太陽の写真は撮れないということを聞いていたことを思い出し、ほとんど諦めていたのであるが、まさに落日寸前、そのような光景が撮れたのである!

現実のそれとは、確かにまるで違うが、私にしてみれば、この写真を見返す時、その時の光景と心情が、かなりリアルに思い出せるものと思われる?!それが、まさに、私の「秋」なのでもある?!

- ・ 往来す ある数値?!  
そうしたものゝ 我が人生に 何故に絡まる?!
- ・ ここにきて 四季のすべては 満喫できず?!  
夏が過ぎれば せめて秋とぞ?!
- ・ 落日の 写真はダメでも その代わり?  
そこで目にした <sup>もの</sup>光景は残れり?!

（ 9 月 12 日 ）

## 19 それぞれの「今」！そこにあるキーワードは、とにかく「納得」?!

今日は、9月20日（金）である。直接には関係のない？「敬老の日」も過ぎ去り、また、降雨の合間を縫って、若いNext<sup>+</sup>の連中と、今年最後の？釣りにも出かけ（この時は、それなりに釣果があった！）、かなりバリエーションのある日々を過ごしたが、再び、あの台風（17号）が近づきつつある！

明日、明後日がヤマ場となりそうであるが、日曜日の、学校の運動会が心配である！

ところで、先日、私の奥さんが、特別に、彼女がボランティアをしている（点訳関係）事業所に出かけるということで（いつもは月曜日！）、私は、咄嗟に、新たな「じのん逍遥」のコースを思い浮かべ、彼女の車に乗せてもらって、その事業所前まで送ってもらった！

そこから先が、私の、今回の「逍遥」であったわけである！そのコースは、こちらも、ほとんどが下り坂とはなるのであるが、かなりの距離があり、最近、あまり歩数が稼げていなかった私には、かなり適切なコースに思われた！



さて、左の写真は、その帰途に立ち寄った、宜野湾市の「いこいの市民パーク（愛称「いこパ」?）」の周回路の傍にあった「ソテツ」である！

ここは、自然の地形を生かした、とても整備された公園でもある！四季折々の木々・草花が、至る所に植栽され、さしずめ、都会のオアシス？とも言えるのかもしれない?!

こんなに多くの赤い実が、一つの毬玉のように膨れ上がり、今にも飛び出すような様に、故知れぬ驚き（感動?）を覚えたので、思わず写真に収めたのであるが、改めて、何という異様さ？なのであろうか?!直に、その赤い実が、すべて剥き出しになり、その存在を、さらにアピールすることであろう?!

ちなみに、そのソテツの実は、うまく処理すれば、食用にもなる?!戦時中、その実を食べて、生き延びたという話を聞いたことがある！しかし、危険な食料であったことには変わりがない！

今は、そんなことさえ、微塵も感じさせない？ある意味、堂々たる存在感でもある！

もう一つ、余計なことかとも思ったが、その園では、次頁のような写真も撮った！

ここには、子どもからお年寄りまで自由に使える、様々な運動遊具があるのであるが、その一角のベンチに、そのような注意書きが、現場写真を乗せて、貼ってあったのである！



誰かが、使用済みの紙おむつを、写真のように、ベンチに置いて（捨てて！）帰っているのである！

残念ながら、日付は読み取れないが、確か連日のそれであったと思う！

犬の糞の不始末も、同じように写真に撮って掲示されていたが、まさか？紙オムツまでとは？ここまで来たか…と、改めて思ったが、これも含めて、「今」なのであろう？！

私の「今」も、その「今」の一コマなのでもある！いろんな「今」があるものである？！

最後になるが、これも過日、今年もまた、三女の誕生日が来た！世間並みの幸せ？とは、さらに遠ざかる年齢となったが、繰り返すように、それはそれで仕方がない！

あくまで、本人が、そのことを納得しておればよいということであるが、父親としては、これから（彼女の人生全体？）を視野に入れた、そういう意味での「納得」であって欲しい？！そう思いながらの、新たな「じのん逍遥」でもあった！

・ こんな蘇鉄 見たことない？！

みなみ 南国の象徴？！ が、ある時は 危うし食料？！

・ 公園の ベンチに残る 尻のあと？！

やはり違うぞ！ 紙オムツ？！

・ 再び来た 三女の<sup>うまれび</sup>誕生日！

都度に思う おの己が‘納得’？！ ただそれだけ！

（9月20日）



## 20 新たな節目を迎えた、我が「じのん逍遥」?!だが、何の節目か?!

今日は、9月27日（金）である。予想外の動きと勢力を伴った、台風17号も過ぎ去り、心配された小学校の運動会（22日、Next+の二人が勤務する学校）も、無事終了したということである！良かった！良かった！

と思っていたら、また、遙か南の太平洋上で、新しい台風が発生しそうである（している?）?!まだまだ、これから、この台風禍は続くことであろう?!

しかし、秋は秋?たとえ、こうした沖縄の秋であろうとも、それなりの気分転換にはなるのである?!やはり、そこにある四季?を愉しまなければ…?!



ということで、左の写真は、その「秋」の雰囲気をお届けしようと、頑張って撮ったものであるが、やはり?その実感は届かないようにも思える?!

青い空、蒼い海、白い雲、緑の木々、爽やかな日の光に照らされて、林立する建物群も白く浮かんでいる（電柱は余分であるが?）!長閑な、秋なのではある!

ところで、いつの間にか、この「逍遥記」も、20号目を迎えた!途中から、下手な写真（本当にそう思う!）を織り込んだ執筆となったが、夏の暑さや台風・降雨等の影響で（それだけではないが?）、なかなか思うような「逍遥」は出来なかった?!

ただし、本来（裏?）の目的は、私の体の、ある数値を下げるための運動療法?であるので、それはそれでよいのであるが（他にも、対処の方途はある?）、17号以後、かなり涼しく?もなってきたので、それなりの「秋」を満喫するためにも、改めて、気を取り直して「逍遥」することにしよう!

そんな中、少し（かなり?）時期が遅れたが、今年度第2号（通巻14号）の「岳陽」も、過日無事完成、発送も済んだ（メール発送だけだが!）!

今回の編集長N君が、最後の仕上げの前に、予想外にもインフルに罹り（沖縄はいつでもインフルが多い?）、慌てて、他のメンバーの総力戦で対処した!多分、今日頃?N君も、職場復帰していることであろう?!

明日は、久しぶりの「ネット研修会」である!さらに、参加者が増える予定である!

いずれにしても、本「逍遥記」も、新たに、一つの節目を迎えた!しかし、ただ20号というだけで、あまりその意義はないようにも思われる?!

前にも書いたように、名目はともかく、自らの足跡?を「対象化」して、何らかの生きる証しを、世間にさりげなく?伝えているようにしているわけであるが、まだまだ人様に、胸を張ってお見せするようなものではない!それを承



知でやっているのであるが、改めて、いつまで続くのか?!



ちなみに、同じようなものであるが、左の写真は、上述の「秋空」に、相変わらず、民家すれすれに離発着する、例の「オスプレイ」を撮ったものである（我がベランダより）！

真ん中の、少し高いアパートの（茶色の凸物の）上部に見える？のが、それである（分からないかもしれない？）！

白い雲の下？に、シミのようにくっついているように見えるが、その直下が普天間基地である！

前にも述べたかとは思いますが、騒音そのものは、他の機種の方が煩くて、それこそ困ったものであるが、とにかく威圧感？があり、しかも、その実績？があるので、怖いと言えば、本当に怖い（特に夜間は！）！

だが、今では、それさえも、私の日常であるのではある?!

・ これでも‘秋’?!      そう思えば      それでよし!  
                                        そうでなければ      何とも悔し?!

・ 続けている！      ただそれだけで      誉めてよし?!  
                                        それが、自分の      確かな証し?!

・ オスプレイ！      ここでは通常？      他では異常?!  
                                        その差は何か？      比べてみよ?!

（9月27日）

## 21 いよいよ 10 月！今年も、あと三か月！年度としては、あと半分！

今日は、10 月 1 日（火）である。早くも、今年は、あと三か月！そして、年度としては、あと半分となった！毎回書くようであるが、本当に、月日の経つのは早いものである？！

先号（20）では、ここ沖縄で、無理矢理？「秋」の気配を感じ取ろうとした私であるが、まだまだ、無理なくそれを感じるのは難しい今日この頃でもある？！

台風 17 号は、幸いにも沖縄本島には直接の影響はなく、無難な月初めとなっている！ただし、湿度が高く、感触としては、あの夏の感覚である！一言で言うと、まったく暑いということである！



さて、左の写真は、懐かしき？我が琉球大学の、図書館前の光景である！そう、あの「琉大祭」の一コマである！

わざわざそれを見に行っただけではなく、当日行った「第 5 回教育協働セミナー」の後、Next+の F 君、T 君、O 君、そして、たまたま沖縄に里帰

り？をしていた S（旧姓 A）さん親子と、私の「逍遙」も兼ねて、これまた懐かしい「東口和風亭」で昼食を取った後のことである！

一人で、歩いて、我が家に向かうところであったが、コース取りとして、琉大キャンパス通過を目論んだのである！

東口から入ったが、何か集まりがあるような気配を感じたが、すぐには、それと思わなかった！中央並木道に入ろうとした時、立て看板が目に入り、それだと分かったが、とにかく学生数が少ない？！

いつの頃からか、時期も、雰囲気も変わり（規模も？）、私の知っている、あの「琉大祭」とは、かなり違ってきたが、それにしても、参加者の数（出店数も！）が少ない！

時代が変わったと言えば、それまでだが、メイン広場のイベントも、ご覧のような有様で、何とも切ない思いで、過ぎ去った当時の光景を思い浮かべもした？！

すぐに、北口方面に向かって歩いたが（ここは、昔ながらの盛況が、若干感じられた！）、誰一人、私に話しかけてくる学生もなく（当時はそんなことは一度もなかった！）、本当に、自分が、今まさに、まったくの通りすがりの人間（変な老人？）であることを、思い知らされた！



## 22「秋」だから？、ふとしたことで「国」について考えてみた?!

今日は、10月8日（火）である。依然として、台風（19号）が気になる「秋本番？」とはなっているが、実は今、私にとっては、ある意味取って付けたような？言い方になるが、「スポーツの秋」でもある！

ただし、自分が何かのスポーツをやるのではなく、バレーボールやラグビーの試合（期せずして、どちらも「ワールドカップ」?）をすべて観ているということであるが（世界陸上は、ほとんど観ていない！何故?）、どちらも、正直？サッカーよりは期待は大きくはないが（あくまでも個人の好み?）、予想外にも？面白い試合、そして勝利もあり、結構楽しんでいる次第である（実際、日本も強くなっている!）！

ただし、一方で、どこの国も、本当に力をつけてきており、何か以前の様相とは、まったく違ってきているようである（地域差が無くなっている！まさに、世界的な「群雄割拠」?）?!

その原因?は、端的に、選手やコーチの国家間の招聘・移動（帰化も含めた!）の賜物でもあろう?!今まで意識したこともなかったが、これも、明らかに「グローバル化」の一つと言えよう?!

そしてまた、それは、ある意味?「国とは何か」という問題提起でもある?!そんなことを思いながらの観戦でもあるが、試合そのものは、もちろん、まったく違う次元の世界である?!頑張れ、日本！



ところで、左の写真は、最近よく通る、我が「じのん逍遥」の新たなコース、言わば「嘉数高台公園コース」の一角にある、かの「沖縄戦」の激戦地の一つに佇む「京都の塔」である！

そのすぐ傍にある「展望台」には、近年では、例の普天間基地が一望できる場所だということもあって、かなりの人（政治家やマスコミ、そして活動家も?）が足を運んでいる所でもある?!

だが、この塔自体は、多くの人が上る「展望台」の左側の木々の陰にあり、ほとんどの人は、そこまで足を延ばしていないかもしれない?!実は、私も、これまではそうであった！

裏道というか、生活関係者でなければ、そこは知らない、通らないという、狭くて、ちょっと薄暗い坂もあり、とにかく、その道へと続く別道の、最初?の入り口が、まさにこの塔なのである?!

沖縄と京都の関係は、より深いということを聞いたことがあるが、これもまた、その一つのシンボルなのでもあろう?!



一方、左の写真も、同じ「激戦地」のそこに立つ、島根県の慰霊塔である！「奮戦の地」と書いてあるので、多くの、同県出身の人達が、そこで最期を迎えられたのであらう?!

しかも、その横には、当時同じ祖国を担った（担わされた?）人達の慰霊碑がある！多少？はばかりもあり、写真には撮らなかったが、本当に複雑な思いであった?!

いずれにしても、彼らにとっての「祖国」とは何だったのか、そして、その祖国が、今、どのような状況（関係）にあるのか?!同県と、その隣の人達の国は、海を挟んで、まったく別の国である！そして、誠に微妙な関係でもある?!

時代が変わったのだと、言えばまさしくその通りなのであるが、皮肉にも、ある時は同じ同胞として、一緒に戦った仲間?であった?!

改めて、「国」とは何か?そんなことを思ったりもするが、多分?元々は、「家族」の延長であった?!!しかし、それは、知らない同士（遺伝的要素も、生活上の規範や価値観も違う!）の集団ともなった?!

ある意味、無秩序な集団でもあった?!!したがって、理解と努力（制度化!）が必要となった!その「擬制の総体」が、「国」である?!!だから、様々な喜悲劇も生まれる?!

・ スポーツに 魅せられ今日も テレビ観る！  
それはそれで 佳きことぞ?!

・ 担った祖国 今はどこ?!  
佇む記念碑は 黙して語らず?! ただそこに立つ!

・ ひょんなことから ‘国’ とは何か 考えた?!  
‘家族’ の延長? 本当にそうなのか?!

(10月8日)



## 23 「蘇鉄」の先に「パトス」と「ロゴス」?! 一体、どういうことか?!

今日は、10月15日（火）である。気になっていた台風（19号）が、沖縄ではなく、再び本土（東日本）を襲い、マスコミ報道によると、大変な被害、犠牲者となっている！本当に嫌になるほど、自然の気まぐれ、猛威が、腹立たしく、疎ましくも思われる！

折角、「スポーツの秋」ということで、バレーボール、ラグビー、そして、サッカーと、どれも日本選手の活躍で盛り上がっているのに、大いに水を差す結果となっている！

犠牲になられた方々のご冥福と、被害にあわれた方々・地域へのお見舞い、そして、一刻も早い復興のご祈念を申し上げたい！



さて、左の写真は、過日紹介した「蘇鉄」の花？のその後であるが、先頃再び訪れたが、ご覧のような塩梅であった！

そんなに激変ではなかったが、明るい太陽の光を浴びて、なお一層の存在感を示していた！

深刻な災害の中、こんな写真、こんな話題で、大変申し訳なくも思うが、私なりの日々の経過の中で、何かを思い、感じていきたい！それが、私の、細やかな「逍遙」でもあるからである（単に歩けばよいということではない!）?!



一方、下の左の写真は、いつかゆっくりと紹介？しようと思っていた、県道（34号）沿いの立て看板であるが、この地区の自治会長（公民館長）が、かなり以前から、多分？地域活性化のために、いわゆる「親爺？ギャグ」を活用して（に乘せて?）、あちこちに立てられているものの一つである！

ひょっとしたら、代が替わっているかもしれないが（「おもしろ看板推進委員会」作?）、かなり前（昔?）に、確か「ナニコレ珍百景」という番組で取り上げられたこともあった?!

「親・妻へは献身 自分へは健診」見事な、初老？昭和男子？の言葉遊び（笑いとペースス）の世界である！

ちなみに、ペーススとは、普通「哀愁」と訳されるようであるが、似た言葉で「エレジー（哀感）」は、芸術作品などで、哀れを誘う力や調子をいうことが多い?!

「エレジー（哀感）」は、「ペースス（哀愁）」よりも、より心にしみ入る



ような、強い「もの悲しさ」をいうらしいが、ともあれ、私は、そのペーソス  
という言い方が気に入っており、事ある毎に、その言葉を発してもきている！

直訳では、「降りかかるもの」、転じて「苦悩、強い感情、災難、苦難」を指  
すらしいが、実は、その「ペーソス（哀愁）」が、あの「パトス pathos」と同  
じ言葉であることも、今回初めて知った！もともとはギリシャ語で、「激情・  
熱意」というのが、「パトス」の意である（→パッション passion）！

ついでに、その「パトス」とセットで出て来るのが、「ロゴス logos」（論  
理）である！こちらは、57 以上？の日本語を含意しているらしいが（まさに「お  
化け言葉」？）、転じて「論理的に語られたもの」「語りうるもの」という意  
味らしい？！

そこから、「万物の流転のあいだに存する、調和・統一ある理性法則」、キ  
リスト教では、「神のことば、世界を構成する論理としてのイエス・キリスト」  
を意味するともいう？！

ということで、何やら、今回は、とんだ？「パトス／ロゴス」談議となつた  
が、自分の人生に関わって、その双方の意味や受け止め方を知ると、改めて重  
要な言葉（哲学）であることが分かる！これからも、そのことを大切にしてい  
こう！私の「逍遙」とは、そういうことを楽しむことも含みたい？！

・ せっかくの 朗報・活躍に 水を差す！  
自然の猛威は すべてを狂わす？！

・ ‘悲しみ’ と ‘哀しみ’ の違い 改めて納得！  
そは人間<sup>ひと</sup>の 感性の妙？！

・ ‘ペーソス’ と ‘パトス’ が同じとは！  
言葉の神の 粋な計らい？！ そこに ‘ロゴス’ も？！

（10 月 15 日）

## 24 再び独り暮らし?!会える時には会っておこう!これも「終活」か?!

今日は、10月21日(月)である。昨日から今日にかけ、またうんざりの台風(20号)が沖縄に接近してきたが、ここ宜野湾市大謝名は、嘘のように逸れて(ほんのすれすれで、「強風域」にも入らなかったようである!)、事前の若干の風雨はあったが、何事もなく過ぎ去った!

今(午後2時)は、午前中からの晴天が続き、爽やかな秋日和(実際は、夏のよう?)となっている!週間天気予報をみると、何と沖縄(那覇)は、これからの1週間、ずっと晴れのようなのである!このまま予報が当たることを祈る!多分、大丈夫であろう?!



そんな秋?晴れの下、左の写真は、我が家の門扉脇の石塀に這う、「あさひかずら(確か?)」という雑草?の花である!

蜜蜂も多く群がっているが(写真では、残念ながら見えない!)、薄桃色の花が、とても綺麗で、そして、それなりの甘い香りが特徴である!最盛期がいつなのかは分からないが、何故か、このように咲き誇っている!

ちなみに、反対側の「ブーゲンビリア」も(右下に小さく見える!以前紹介した!)、今なお新しい花を咲かせているが、今回は、こちらの方を採用した!

本当は、台風の前に、塀の防護のために切り払おうということであったが、今は、取り敢えず、このままでいこうと思っている!変な話、本当に雑草なのか?

ところで、昨夜、ラグビーの試合を見た!残念ながら、日本は負けてしまったが、やはり?実力(体格?)の違いがあった?!だが、本当に頑張った!

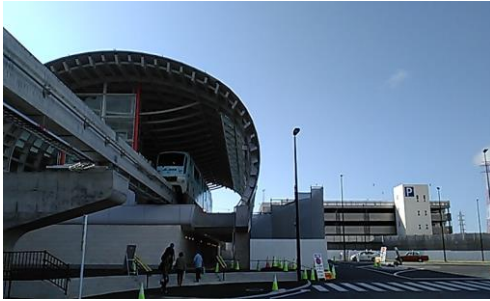
一方、同じ時間帯にあったプロ野球日本シリーズは、昨夜もまたS Bホークスが勝った!本当に、あのチームは、ここぞという時に強い(まあ、他のチームが弱すぎるということでもある?)?!余計なことだが、「CS」は、本当に必要なのか?そんなことさえ、思ったりもする!

さて、肝心の、我が「じのん逍遥」であるが、一昨日(19日)は、久しぶりに那覇まで足を延ばした(ただし、バスとモノレールも使ってである!)!

我が奥さんの不在もあって(例によって、宮崎の長女一家の「お助けお婆ちゃん?」として!)、最近はまだ、かなりのご無沙汰となっている、大先輩のHさん(あるNPO法人の理事長をされている!)に会いに行ったのである!

80代後半のHさんであるが(私と、20?くらい違う!)、国際通りで軽い昼食を共にし、よもやま話に花を咲かせた!いつもながらの、驚異的な?元気さであった!

その後、すぐに分かれ、私は、「美栄橋駅」から、新しく出来た終点「てだこ浦西駅」までモノレールで移動し、裏？の目的であった「健康ウォーク」を行い、途中「パークレー」を経由して、我が家に戻った！それなりの歩行距離であった！



その「てだこ浦西駅」であるが、左の写真のように、今のところは、あまり乗降客もいない？大きな駐車場（右遠方）も整備されているが、利用者（車？）も少ない？

先日まで「終点」であった「首里駅」は、すぐに「首里城」があり、観光客も含め、多くの人の乗降があったわけであるが、今後、この駅はどうなっていくのか？次なる延伸計画もあるようであるが、多少心配である？！

ただし、それが実現する頃まで、私が生存しているかどうか？そちらの方が心配である（笑）？！

末尾になるが、同じように、久し振りの再会を目したKさんであったが（病気がちで、なかなか会うことができない！）、今回も？（「ガサミの会」と称する怪しげな誘い！）、残念ながらのドタキャンで（風邪気味！）、後日を期することになった？！果たして、それもどうなることやら？

・ 雑草の 花とは言えど 麗しく？！

その証<sup>あかし</sup>拠に 蜜蜂群がる！

・ 終点が ある<sup>とき</sup>時期からは 途中駅？！  
我が人生も そうなのかも？！

・ 会いたいと これまでは あまり思わず？！  
そは 誰にとっての‘終活’？！

（10 月 21 日）

## 25 初老の男は、「親爺ギャグ？」が好き?!実は、それは「照れロマン」?!

今日は、10月30日（水）である。明後日から11月に突入である！毎年書くようであるが、「霜月」という呼び名は、ここ沖縄ではまったく無縁であるが、北西風が多く吹く（それもかなり強く?）、それなりに寒い（涼しい?）季節ではある?!

今後、あの台風が、季節外れで接近するかどうかは、まったく予断は許さないが、一応は、これで台風の季節も終わるということである?!

ところで、来月末、東京での学会参加にかこつけて、大学時代の友人に会うことになっている！そして、今回は、我が奥さんも同行することとなり、折角だからということで、その友人が、現在よく行っている山登り（金時山トレッキング?）を、一緒にやろうということになっている！

そこで、それなりの装備（靴）が必要だということになり、本日、沖縄市の「ライカム（ジャスコ）」に買い物に出かけたのである！一応、買い揃え、そして、遅い昼食（回転寿司!）も終わり、帰路は、例によって？私は、逍遙（「健康ウォーク」?）を目論み、途中で車から降ろしてもらって、「普天満神宮」近くから、かなりの道のりを歩いた。



左の写真は、その逍遙のすぐに見つけた、ある店の看板（表札?）である！最近も紹介したが、どうもこのような言葉遊び（親爺ギャグ?）の看板が、私にはよく目につき、今回も、そのようになった！

「カラオケラウンジ」と書いてあるが、その名前から察すると、多分？馴染み客で賑わう「喫茶店」（泡盛も飲める?）であろう?!店の客に、楽しく飲んで、歌ってもらおうという店主の思いが、そこにあるのであろうが、「無茶」を「夢茶」として、そういう人達のたまり場（「巢（窟?）」）にしたいということであろう?!

その店が、実際に繁盛しているかどうかは知る由もないが、私のような初老の男には微笑ましい限りである！いつまでも、潰れないで、続けていてもらいたい！

そんなことを思いながら、長い「パイプライン」を歩き進め、多少の休憩を兼ねて、久し振りに「森川公園」に行こうと思って、そこに入ったのであるが、その上り坂の途中、これまでは、一度も開いていたことがなかった、「宜野湾市立博物館」の裏出入口が開いていたので、不思議と興味が湧き、ほとんど誰も通らないであろう通路を下っていった！

ちなみに、この博物館には、かなり以前、仕事で一度？訪ねたこともあるが、ほとんど何も覚えていない?!とんでもない社会教育研究者?である（市教委さ

ん、大変申し訳ない！)？！



ということで、左の写真は、その博物館の庭？の一角にあった柿の木の情景である！沖縄には、とても似つかない？光景であるが、何とか、沖縄の秋の風情を感じさせるもの（自然の侘しさもあるよ！）ということで撮ったのである！

本当は、そこの庭に立っていた彫像（「野風童のふどう」※有名な彫刻家の作品のようではある！）を見て、戦後間もない頃の、沖縄の子ども達を表しているようにも見え、写真に撮ったのであるが、調べてみたら、特に沖縄とは関係のない作品のようであったので、代わりに撮った「柿の木」の方を、ここで載せることにした次第である！

実が、合わせて3個！葉っぱの数も残り僅か！場所からして、何とも侘しい柿の木であるが、渋柿かどうかは分からないが、私の小さい頃の経験では、どうにか食べられそうな気がする？！

どうしてもよいが、この柿を手にする人がいるのであろうか？もし、手にして齧る場合には、甘くなくてもよいので、何とか食べられる柿であって欲しい？！ただし、今時の子ども達は、まったく目もくれないであろう？！

・ 言葉と弄ぶ<sup>あそ</sup> 親爺達！

そこにあるのは 照れロマン？ そこが麗<sup>うるわ</sup>し？！

・ 展示品より 柿の木に  
何故に目がいく 今の我れ?! 背徳者か?!

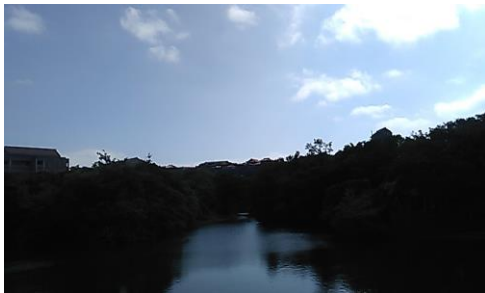
・ 暮れ行く秋の 博物館に 柿の実が！  
誰か手に取り <sup>かじ</sup>齧るのか?!

(10月30日)

## 26 脆く、儚く焼失した沖縄のシンボル！そこに、「文化」と「公民館」？！

今日は、11月3日（日）である。そして、いわゆる「文化の日」である！この祝日の趣旨は、「自由と平和を愛し、文化をすすめる」（「祝日法（国民の祝日に関する法律）」第2条）とされているが、由来は、明治天皇の誕生日にあたり、明治期に「天長節」、昭和初期に「明治節」として祝われた日であるようである。

しかも、1946年（昭和21年）に「日本国憲法」が公布された日でもあり、同法が、平和と文化を重視していることから、1948年（昭和23年）に公布・施行された「祝日法」で、「文化の日」と定められたようである。



さて、その「文化の日」を前にして、哀しいことに、そして、信じられない程に、沖縄のシンボル・文化のシンボルであった「首里城」が、何故か？（原因はまだ不明！）、脆く、儚く、先月31日未明に焼失した！

普段なら、左写真の真ん中には、沖縄（琉球）独特の、鮮やかな朱色の建物群が、勇壮に聳え立っていたのであるが（そんなには高くなかったか？）、黒く焦げた「北殿」の上の部分、ほんの少し見えるだけとなっている！

実際には、まったく写真の呈にはなっていないが、何とかその情景を、自分でも目にしておきたいと思っただけの仕儀であったが、残念なことに（仕方がないが！）、我々一般人の接近は、それ以上は叶わなかった！

今日のネットニュースでは、『奇跡の龍柱』黒焦げで立つ 首里城火災 美術工芸品は全焼免れる！』とあるが、もし、そうであれば、多少の救いではある?!本当に、まさか、こんなことが起きようとは?!とにかく、夢のような出来事（火災）である！



一方、左の写真は、首里城からの帰り？（歩き）で撮った、「泊大橋」の横に近年整備された「那覇クルーズターミナル」の半景である！

この時の寄港船は、横に Holland America Line と書いてあったので、多分？オランダとアメリカを行き来するものであろう?!ある意味、首里城が「山（丘？）の上のシンボル」であるならば、こちらは、新しくはあるが、さしずめ「海（港）のシンボル」とでも言えようか?!

かなり頻繁に、ご覧のような豪華大型客船が、専用のターミナルに横づけし、



しばしの間？多くの観光客を市街へと誘うのであるが、今回も、途中で、その乗客であろう人々と、数多く出会った！

もちろん、外国人（オランダ人？）ばかりであった？そして、初老の夫婦？連れが多かったようにも思える？！しばらくすると、その船は、ゆっくりと離岸していった！どこに向かったのであろうか？！

なお、こちらの方（前面にある公園脇）にも、大きな龍柱が聳え立っているが、那覇（沖縄）は、この「文化と観光」によって成り立っている？！もちろん、そこには「経済」という媒介項があるが、これから、それがどうなっていくのか？首里城からの帰りでもあったので、多少、そんなことを考えたりもした？！

最後になるが、実は、今回の那覇探訪（結果的に！）は、R B C（琉球放送）のテレビ番組「ウチナー紀聞」（日曜 午前 11:00～11:30）で、市内の「二つの公民館（の館長）」を取り上げたものを放映するというので、私に、ほんのちょっとの？コメンテーター役をお願いしたいということで、取材場所の若狭公民館に足を運んだのである！

首里城への接近は、その機会を利用してということでもあったわけであるが、かなりの逍遥となったことは事実である！ちなみに、その放映は、今月 17 日だそうである？！果たして、どんな番組となっているのやら？！

・ どうして      こんなことが？  
                 起きるはず                      ではなかった                      シンボル焼失！

・ ‘文化’ には                      様々なものが？！  
                 そこに ‘観光’                      絡みつく                      いかなる ‘光’ か？！

・ ‘公民館’                      何故、今                      採り上げる？  
                                         分かる人には分かる                      その<sup>かのうせい</sup>存在意義？！

（11 月 3 日）

## 27 いわし、さば、うろこ雲?!それは、秋の季語とぞ!いかなる秋か?!

今日は、11月14日(木)である。気がついてみると、先号(26)から10日以上も経ってしまっている!別シリーズ(「古代史の旅」)の執筆に、それなりの時間を取られたのも原因であるが、何故か、あまり書きたくなかったのも事実である?!

思いもかけない「首里城の焼失」もそうであるが、この間、何となく詩心?が減退し、ある意味憂鬱な時間が続いているわけである?!そして、今もなお、その一つ?が進行中でもある?!

それについては、今は何とも言えないが、何とかならぬか?!そんなことを思いながらの、本日でもある?!

なお、その憂鬱の原因の一つかもしれないが、現在(11日以降)、突然の「ミニ独居状態」になっており(宮崎の長女一家から、再び?緊急SOSが入り、我が奥さんはそそくさと行ってしまった!)、食事等を含め、何やかやと、「日常生活」の維持に汲々としている!

たとえ独りであっても、何とか「自立・自律した高齢者」として、生活していかなければいけないのであるが、普段が普段でもあるので、なかなか厳しい日々である?!



ところで、過日、ちょっとした逍遙の途中に、面白い雲を見つけた!

これは是非写真に撮っておこうと、シャッターに収めたのが左写真であるが、自宅に帰って調べてみたら、どうも「いわし雲」とか呼ばれるものらしい(「うろこ雲」とか「さば雲」とも!本当にそれかど

うか、自信はないが?)?!

ネット情報によると、「高い空に小さな固まりがたくさん集まったように見える雲がありますが、巻積雲の一種です。この雲は低気圧の前面に現れることが多く、半日くらい過ぎると雨が降ると言われています。いわし雲は秋以外にも見られますが、秋の移動性高気圧の後ろ側によく見られ、秋の季語になっています。」とある!

また、「上層雲の一種で氷晶からなる。一般には巻積雲の俗称であるが、雲の類の名称と厳密に対応するわけではなく、高積雲をさす場合もある。秋によく見られ、そのときイワシ漁があることからこの名がある。まだらの形がサバの皮膚の模様に似ているため、さば雲またはうろこ雲とも呼ぶ。」ともある!

いずれにしても、こんな状態の雲は、あまり見たことがなく、しかも、夕日と混じり合って、本当に綺麗であった!多少、神秘的でもあった?!ただ、これ

が、沖縄の秋を象徴しているのかどうかは、私には、甚だ疑問ではある?!しかし、それはそれで、いいではないか?!



一方、左の写真は、これも過日、再び訪れた、沖縄市の「イオンモール(ライカム)」の屋上から、「勝連城」の方向の海(「太平洋」)を撮ったものである!

海の蒼さに、つつい惹かれ(自宅から見える「東シナ海」の蒼と変わらないとも思うが?)、何故か写してしまった?!

その手前中央が(ほとんど見えていないようにも思うが?)、かなりの反対運動の中、結局は進められてしまった「泡瀬干潟」の埋め立て地であるが、緑の部分も出来ており、その完成?も間近であろう?!

以前のような喧噪?も、今ではまったくなく、予定通りの工事が、着々と進行しているようである(本当は、どうかは分からないが?)?!

「四季」の移り変わりのように、世の中の出来事は、その様相を刻々と変えていくのであるが、そこに、様々な「喜怒哀楽」が繰り広げられていくのである?!ただそれは、結果としては、「幸」であって欲しい?!

・ 孫達よ! 予定外の 呼び寄せするな!  
そんなことさえ 思わせもする?!

・ ‘いわし雲’ ここ沖縄でも 秋の季語かと?!  
思いながらも もうすぐ終わる?!

・ 埋め立てが あちこちで進む?!  
そこに幸あるか? せめて心の 溝は埋めよ?!

(11 月 14 日)

## 28「播州」経由で「晩秋」を満喫?!だが、実際は複雑な旅でもあった?!

今日は、11月22日（金）である。昨日、「播州」経由の鳥取・岡山の旅（夫婦旅行? 6泊7日）から戻り、久しぶりにパソコンに向かっている! 気のせいかな? 動作が鈍い?!

しばし、東シナ海の方に目を遣ると、季節外れの台風（27号）の影響であろうが、濃霧が海面を覆っており、そのまま雨雲として、空全体に広がっている! 遠方の読谷半島は、ほとんど隠れてしまっている! 小雨がパラついているものの、風はあまりなく、したがって、かなり蒸し暑くもある!

昨日までいた本土（中国地方）の「晩秋」と比べると、雲泥の差である! これが、沖縄の「晩秋」なのではあろう?! 予報によると、明日まで、この状態が続くようである?!

ちなみに、その旅は、まったくの私用で、鳥取に住む義母（96歳）への顔見せ? と、岡山に住む三女の引っ越しの手伝いといったところであった!

義母の驚くべき? 元気さと義兄夫婦の大変さ、そして我が奥さんの思いといった、複雑な? 人間模様が見られたが、世の中には、そういった光景が数多ある?! 老々介護の問題であるが、当事者達が、少しでも楽になれたらと思っはみたが、現実は、本当に厳しいものである?!

三女の引っ越しは、仕事の都合で、倉敷市に移ったものであるが、手伝いもあったが、本土の「晩秋」を満喫するためでもあった?! お陰で、例の「美観地区」の観光もできた! また、三女の友達や卒業生のS君との奇妙な? 再会もあり、美味しい「瀬戸内料理」も堪能させてもらった! 「ままかり」という魚が、一番名物だそうである!



ところで、左の写真は、その「美観地区」の一角であるが、有名な「大原美術館」へは、何故か? 入館しなかった（お金の問題ではない!）! お節介な、「写真撮って上げますおじさん?」（ある種の押し売り?）から、何枚もの夫婦写真を撮ってもらったのであるが、ここでは、私単独のものを載せさせてもらっている（何かあると困るので?）!

数時間の滞在であったが、多くの観光客が訪れるのも無理はなく、「吉備」の歴史と自然と文化が織りなす素敵な場所であった!

ある紡績? 関係の実業家の財と文化感覚が、こうした「美観地区」を残したわけであるが、そのスケールの大きさ（人間力?）に、ただただ驚かされた次第である! それに比べると（本当は、比べてはいけないのであるが!）、私の人

生の、何とちっぽけなこと?!そして、貧弱なこと?!だから、美術館にも入れなかった?!

まあ、そんなことはどうでもよいのであるが、今回の旅は、もちろん楽しく、そして、意義あるものではあったが、一方で、ある鬱屈とした思いを抱えながらの旅でもあった?!それは、ある若者のことであるが、彼に何が起きているのか、最近の状況がまったく掴めないのである!

だが、考えてみると、この若者に限らず、世の多くの人々は、様々な日常、様々な人間関係を有しており、他人には言えない思い、事情を抱えている?!そうしたことを、私の知らないところで、背負いこみ生きている?!とは言え、少しは何とかならぬか?!若者よ!



最後に、左の写真は、先日、来月初めに経験するであろう山登りの予行演習を兼ねて訪れた、北部恩納村にある「県民の森」の、登山コースの一コマである!

新しく買った「靴」に慣れるために、そして、何より軽い気持ちで臨んだのであるが、あにはからずや、階段上りのきついこと!きついこと!

多少は、いつもの逍遙(健康ウォーク)で鍛えて?いると思っていたが、階段上りの筋肉(というより股関節?)は、ほとんど通用しないということであった?!

何とも情けない顔が、正真正銘、そこにある!しかも、正直?あまり認めたくないが、最近の私の風貌が、亡き父のその頃に、よく似てきたようにも思う?!親子ではある!

・ みんな 頑張っている それぞれの今を?!  
晩秋だからか 切なくもある?!

・ 旅先も 立派な逍遙<sup>しょうよう</sup> 成立す!

されど夫婦<sup>ふたり</sup>じゃ 小用<sup>しょうよう</sup>も多し?!

・ 写真が示す 我が老いの あり様?!  
いつしか亡父の それに似る?!

(11 月 22 日)

## 29 嬉しい出会い、再会もあるが、心重い部分も続く?!これも、晩秋?!

今日は、11月28日（木）である。久しぶりの夫婦旅行?（6泊7日）から戻り、早1週間が過ぎた!帰っても、さしたる変化もなく、淡々と日常を繰り返している言えば、そうなのであるが、その中で、多少緊張感を伴うイベント?があった?!

それは、原則として毎月1回、今年度から始めた、ネットを通じた「教育協働セミナー」（「ズーム」というソフトを使用した）を、今月は、我が「岳陽舎」をホスト局として実施したのである（24日午前中）!

システム自体は、慣れれば、何のことはないのであるが、互いの映像・音声、想定通りに遣り取りできない場合もあり（今回は、こちらの音声が、ネット向こうの参加者に届かなかった?）、まったくの機器音痴である私だけでは、到底対処できないものであった?!

原因は、最近購入した「ディスプレイ」の音声箇所の不具合にあったようであるが（試用では、そういうことはなかったが?）、幸い?、今回北海道からの遠来客であったGさんの機転で、事なきを得た!

結果的には、岩手県からのKさん、沖縄からは、彼女らの友人Kさん、そして、我がゼミの最後の卒業生M（期せずして、旧姓のイニシャルが同じ!）さんも来てくれて、もう一人の北海道からの参加者Mさん、後半からは、大阪のTさんも参加されて、いつもとは違った雰囲気、楽しく、有意義なセミナーを行うことが出来た!

これについては、別途（「教育協働への道」及び「セミナー開催案内」で）触れるつもりではあるが、一方で、期待している、他の参加者（特に「若者」!）の参加が叶わなかったのは、残念でもあり、ある意味悲しい部分でもあった?!



ところで、左の写真は、季節外れの「薄<sup>すき</sup>」である!と言っても、沖縄は、私の記憶では、一年中、どこかに咲いて?おり、そんなに珍しいものではないが、当地の「晩秋?」を感じさせるのではないかとも思い、撮ったものである!

「薄<sup>すき</sup>」が、何故か、侘しさを、私にくれているようにも思えたのである?!

もちろん、その侘しさは、この数か月、徐々に増幅されたものであり、特に、ある意味一番頼りにしていた、ある若者の、突然の音信不通?のなせる業でもあろう?!本人には申し訳ないが、正直、そのことが、私の心の奥底に沈潜しているのである?!一応、このまま待つつもりではあるが、一方では、ある種の終わり?を覚悟しなければならないであろう（既に、決心はしている!）?!



ということで、ひょんなことから？（年度途中ということでもあるが！）新たな状況に立ち向かわなければいけなくなった私であるが、それは、ある意味必然でもあり、お互いが、いつかは乗り越えなければいけない宿命でもあったのかもしれない?!だが、そのことだけで、これから生きていくわけにはいかない！まだまだ、やるべきことは沢山ある?!



最後に、左の写真は、「薄」を見ながら、その後に訪れた「海浜公園」の横に流れる、ある川？の河口である！

いつもは、そこは、ほとんど釣り人はいないのであるが、その時は、何故か、大勢の釣り人が、一斉に、ある場所を目掛けて、釣り糸を投げていたのである！

何を釣っているのか尋ねてみたら、「みじゅん！」であった！ミズン（みじゅん）は、「条鰭綱ニシン科」の海水魚であり、沖縄では、安価な大衆魚として流通するほか、カツオ漁などでの釣餌としても利用されるらしい。この時期が、最盛期かどうかは分からないが（5月頃?）、家族連れの団欒光景が、とても微笑ましく思えた次第である！

- ・ 嬉しき出会い      再会と  
    他方で募る      重たき心?!      そもあるか?!
  
- ・ ‘すすき’ に映す      <sup>あき</sup> <sup>たそがれ</sup> 晩秋の黄昏!  
    ただそこは      人目に付かず!      それでよい?!
  
- ・ ‘みじゅん’ 釣り      釣果もそうだが  
    効用は      家族団欒?!      それもよい?!

(11 月 28 日)

### 30 上野・浅草、そして箱根！最後に、痛み忘れて、魅入る富士の秀丽?!

今日は、12月4日（水）である。気がつけば、今年も、既に「師走」となっている！決まり文句のようであるが、本当に、1年とは、あっという間である！

だが、何故か、一日一日は長い?! 3月までと、それ以降の生活リズムが、かなり違ったということであろうが、現役引退? という、その現実が、じわじわと我が身に、緊張感? のなさを沁み込ませていっているということでもある?!

絶え間ない醜聞や信じられないような事件はともかく、大きくて重要な社会の動きにも、何故か、それなりの距離感を覚え、ある種の「隠遁生活?」に入り込んでいるような気もするが、要は、いわゆる「仕事」がないということが大きな理由ではある?!

そんな中、実は、またもや夫婦旅行? を行った（4泊5日）！今回は、東京ということであったが、私の学会参加にかこつけて?、広島時代の友人F氏夫妻との再会、そして、「足柄山の金太郎」で有名な「金時山」（標高1000m強!）への、二組夫婦登山? というのが目的であった！学会（上野）の方は、いつもと変わらずの参加であったが、新しい会長の下、若い人達が頑張っている様子が具に見れて、いい意味での世代交代を強く感じた！

来年の大会を、久し振りに地方で行うという提案もあり（宮城県のS大学にて）、私は、少なくとも来年までは参加してみようと思っているが（役員としての任期もあり?）、仙台にいる、別の、大学時代の友人M君（今年2月に沖縄に来てくれた!）とも、また会えるかもしれない?! 多少不謹慎であるが、今となっては、そんな楽しみ方も許されるであろう?!



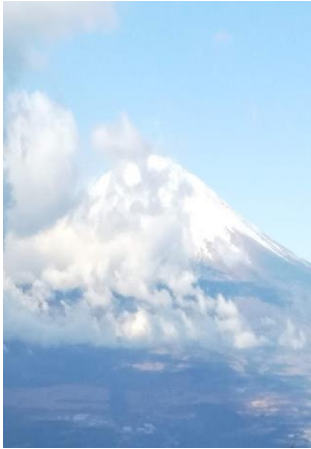
ちなみに、左の写真は、最初の日を訪れた浅草の一コマである（私の表情が、近年になく凛々しく見える? ので、敢えて載せた?! 笑）！仲見世通りや浅草寺境内の客の多さに、圧倒されたりもしたが、予定通り「浅草演芸ホール」での寄席見物も行った（我が奥さんの希望でもあった!）！

名物の「もんじゃ焼き」も、我が奥さんと一緒にいただいた！老いらく? のデートでもあったろうが、傍目には、どのように見えていたのか?!

ところで、今回は、何よりも、初めての登山の洗礼が、とても強烈なものとなった！自らの体が、こんなにも情けないものとは、本当に思えないほどの惨状で、機会があれば登りたいと思っていた「霧島山系」へのそれも、新たな覚悟と余程の鍛錬がなければ、実際は叶わないということである?!

一方、我が奥さんは、日頃の鍛錬と節制のお陰？で、逞しい登山家であった！何が、何故違うのか？腰痛持ちの違いはあろうが、どうしてそのようになるのか？色んな意味で？、彼女の凄さ（怖さ？）を実感し始めている私であるが、今回もまた、然りであった！改めて、女性（おばさん？）は強い?!また、私より年齢的には遥かに上であるF氏夫妻の体力（元気）にも脱帽であった！そして、優しさと思い遣りに感謝である！

妙な話ではあるが、今回の学会参加や友人との再会、そして山登りは、私にしてみれば、ある種の「終活？」という意味合いもあったのであるが、まだまだ、それには及ばないのかもしれない?!否、してはいけない！これからも、出



来る時に、出来ることを、私（達？奥さんはどうか分からないので？）なりに行おうと、思いを新たにすることは事実である！

最後に、左の写真は、身も心もくたくたになって、帰り際の立ち寄り温泉に入って少し元気になり、その後通った「乙女峠」（絶景ポイントの一つ）から撮った「富士の秀麗」である！

画像そのものは、あまり良くないのであるが、その大きさ、威容さには、改めて圧倒させられた！近いうちにまた、会いたいものである！

- ・ 学会参加に かくつけて  
初老の夫婦 温泉三昧?! 当時（湯治）はあり得ぬ？
- ・ こんなにも 違いがあるとは ついぞ思わぬ?!  
山が告げにし 過酷な現実?!<sup>わがみ</sup>
- ・ 出で湯の箱根 巡り来て  
最後が秀峰 富士山なり 何とドデカし！

（12月4日）

### 31 何のための「逍遙（記）」か?!暮れ行く年に、戸惑う私?!されど…?!

今日は、12月15日（日）である。今年も、あと半月である！本当に、月日の経つのは早い！やることは、それなりにあり、いわゆる「逍遙？」も、やるにはやっている！しかしながら、最近では、どうも、この「逍遙記」の作成には、お分かりのように？、あまり意欲が出ていない？

単純に言えば、書くことがないということでもあろうが、やはり、何のために書いているのか？そのこと自体が、怪しくなってきたということであろうか?!

想うこともあり、出くわす光景や人々の様子も、それなりにあるのだが、何故か、それ以上の感慨や言いたいことが、思いつかない（書きたくない？）のである?!

日記でも、ある時期の、私の日常（非日常?）を記録しておくためということでもあってもよいが、今（これから?）の私にとって、それが、いかほどの意味があるのか？そこに、多少（かなり?）の不信感が募っているということでもある?!

その一因が、ある若者の、長い音信普通?にもあるように思うが、それも含めて、書くことへの執着心が無くなりつつあるとも言えよう?!

尤も、そういうことであれば、基本的には、それはまずいとも言えるであろう?!世捨て人か、あるいは余命宣告された人であるならば（不謹慎であるが!）、そうした思いもありであろうが、私自身には、まだまだそういう事態は迫っていない!

病気や身体の衰え（こちらの方は、予想以上ではある?）はあるものの、いわゆる「最期?」を予期させるようなものは、何一つない?!私にとっては（少なくとも、今の私にとっては!）、やはり書くことだけが（実際は、パソコンを打つことだけだが!）、まさに「命」であり、「自己の存在証明」でもあるのである?!



ということで、左の写真は、そうした中で、過日訪れた「トロピカルビーチ」の前景である!

空と海と、そして砂の色のコントラストが美しく、例によって、下手なシャッターを切ったものであるが、12月の海とは思えないくらい、暖かさ（暑さ?）と長閑さであった!人（観光客）がいないのが奇異に映るが、流石に、海の中で遊ぶ人はいなかっただけである!

ちなみに、過日の、例の検査結果は、予想に反して、ほんのちょっぴり良いものであった!0コンマ1レベルの変化ではあったが、危険水域を下回ったの

である（油断は禁物ではあるが！）！3カ月に一度の一喜一憂ではあるが、10年以上？も続く、この日常？が、これまでの私の基本でもあったわけであるが、上記の写真は、そうした私の日常に絡んだ風景でもあるわけである？！



次に、左の写真は、同じ日に訪れた「岬公園？」の、河口付近の光景である！まだまだ、例の「みじゅん（みずん）」も釣れるようで、今回は、それなりの専門家？が、各自各様に釣り糸を垂らしていたが、シャッターに収めたのは、そのみじゅんを、秘かに狙う？白い鳥であった！

名前は知らないが（多分？鷺の仲間であろう？）、多少は動きながらも、その都度、じっと獲物を見据えるその鳥の様子が、とても気に入ったのである！

当然、獲物のほとんどは、その釣り人にもっていかれるのであろうが（事実、かなり釣れていた！）、1尾でも、自らの嘴で手に入れば、その鳥には、大いに満足であろう？！

現役？とは違う我が身にしてみれば、その（不利な？）鳥の日常に、何故か？エールを送りたいとも思った？その後、果たして、その鳥の釣果？はどうであったであろうか？！

・ 書きたくないよ！ プロでないので それでよし？！

されどこの<sup>お</sup>老い いかに<sup>お</sup>背負う？！

・ 重たき日々よ！ 若者達も さにあるか？！  
ならば老いとは その重ね？！

・ 私の待つと 何違う？！

じっと待つ その<sup>しらとり</sup>白鳥の 名前も知らず！

（12月15日）



### 32「令和元年」は、私にとっていかなる年であったか?!か細き城は?!

今日は、12月23日（月）である。先号（31）を書き終わってから、またしても、あっという間に1週間が過ぎ去り、今年も、残すところ1週間余となった！明日のクリスマスイブはともかく、世間では、新たな年「令和2年」に向けて、今年の締め括りと来年に向けての準備を、まさに忙しく?行っていることであろう?!

だが、残念ながら?私の方は、そうした世間の動きとは裏腹に、いつもの、ノンビリとした日々が続いている！気温も高く、とても正月を迎える気分ではない?!ちなみに、今年は、年末の28日から、新年の5日まで、いわゆる「本土」の方へ出かけているので、多分この記事作成も、今年は、これが最後であろう?!

振り返れば、今年も様々なことがあったし（新元号「令和」のスタートも、もちろんそうであるが!）、個人的にも、それなりに?いろんなことがあったように思える?!ただし、何が一番心に残っているかと問われれば、具には、なかなか思い上がってくるものはない（ある事以外は?）?!

単なる記憶の新しさ（最近の出来事!）ということだけが、それに関わってくるであろうが、やはり「首里城」の炎上・焼失は、驚きばかりではなく、複雑な沖縄のあり方を、改めて考えさせるものでもあった?!

そう言えば、各種の災害もそうであるが、「中村哲氏（「ペシャワール会）」の客死（凄惨な死!）は、本当にやるせなく、複雑なものであった！



ところで、左の写真は、ほとんどの人にとっては、何の変哲もない「じゃがいも畑」であるが、ある時の「逍遙」の際に、カメラに収めておこうと思って撮ったものである（真ん中のカラスの案山子?も面白かった! 見えない?）！

そこの畑は、毎年じゃがいもが植えてあるが、確か、その家（知人）の高齢のお婆さんが、一人で、そこに座り込んで収穫していたことを覚えてる（動作は緩慢であったが!）！

今年の収穫時には、その姿は見えなかったが（その作業も出来なくなっている?）、再びそこに、じゃがいもが植えてあったことが、何故だか、私には嬉しくもあった?!そう言えば、以前、そこの主人が、その畑は、そこのお婆さん（母親）のためもあるが、自らが経営している?「高齢者施設」のみなさんの、リハビリ兼レクリエーション?の場でもあると言っていた?!

私にしてみれば、何とも羨ましく、そして、心温まるものを感じたものであ



るが、それが、彼（ら？）の、ある種の城であり、そのシンボルでもあるのであれば、それこそが、最も大切であり、ある意味？崇高なもののようにも思えるのである（収穫自体は目的ではない？）？！



次に、左の写真は、また別の「逍遙」の時に、これもまた、何故かシャッターを切ったものであるが、国道脇の路地筋に、ひっそりと？、しかも、どこか異次元の雰囲気醸し出していた？！

沖縄の本土返還前の、賑わっていた？頃の「普天間」を象徴するものであろう？！どうでもよいが？、クリスマスと関係がある

のであろうか？！

それはともかく、当時の？物言わぬ人形や骨董品が、暮れかけた路地筋に、かなり雑然と置かれていたのであるが、もちろん、こちらは、店の裏（横？）に位置するものであり、そこにある商品？は、多分売り物ではないであろう（勝手にそう思っている？）？！

ただし、彼らは、過ぎ行く歴史を、確実に？見守っていたはずである（今は、騒音だけが賑わっているが？）？！

・ 城の焼失！ それは シンボルの喪失？！  
我が心の城は いかに？！

・ されどそは あるところにはある？！  
か細けど 見ようと思えば すぐそこに？！

・ 路地筋で 過ぎ行く<sup>とき</sup>歴史を じっと<sup>み</sup>見守る！  
その人形達も 実はシンボル？！

（12 月 23 日）

### 33 何とも麗らかな初春！史跡巡り？と言う名の、私の正月の旅?!

今日は、1月6日（月）である。年末年始を九州（3か所）で過ごし（家族大集合!）、昨夜、帰沖した！久し振りの長期留守（8泊9日）で、ベランダの花木が心配であったが、何とか枯れずに済んだようである！水をたっぷりかけてはいたが、改めて植物とは、逞しいものではある?!

ふと、前方の東シナ海（湾）を見遣ると、あの懐かしい？蒼碧の海が、遅い？朝日に照らされて、清々しい春の？光景を見せてくれている！今回、何か所かの海を見たが、やはりここから眺める景色は良いものである（多少、自画自賛ではあるが?）！

今年もまた、この眺望を、幾度となく愛でることであろう?!そしてまたそこに、様々な思いが去来することであろう?!

ということで、例の、健康維持を兼ねた?「逍遙」は、かなりの休止とはなかったが、九州では、それとは違った「別な逍遙」を、幾度となく行った！目的地への、単なる徒歩移動?ということではあったが、幸い毎日天気にも恵まれ（冬とは思えない!）、思わぬ至福の時ともなった！

福岡、唐津（実家）、福岡、小林、霧島、そしてまた小林、福岡と動いたが、道連れにされた家族達（特に、次女・三女!）は、さぞかし迷惑であったことであろう?!

だが、父親の私にしてみれば、それこそ楽しく（懐かしく?）歩くことが出来た（少しきついところもあったが?）！これからも、そういうことがあるのかどうかは分からないが、一回でも多くやりたいものである！

ということで、我が家の冬（正月）は、長女一家と次女がいる九州に集まり、束の間の家族再会を果たすのであるが、いつまでそれが出来るのか?そんなことも、多少は思いながらの旅とはなったが、本当に、時の経過というのは早いものである！旅先では、特にその感が強い?!



ところで、左の写真は、今回（実は前から!）、時間が取れば、是非訪ねてみたいと思っていた、久留米市の「大善寺玉垂宮」の鳥居前である！今回の「初詣」は、運よく宿泊出来た霧島温泉郷（ホテル）の近くの「霧島神宮」（祭神：瓊瓊杵尊 他）であったので、ここでのそれは、まったくそれとは違うものであった！

ここは、ある意味？古代史の謎の中核を担っていると、秘かに私が（も?）目しているところであるが、どうも、「初詣客」には無縁の地のようである?!

すなわち、ここは、通の人には有名な「武内宿禰（藤大臣?!）」「神功皇后」、そして、「応神天皇」や「住吉大神」の縁の地であるが、

地元の人達が、近々行われる「鬼夜<sup>おによ</sup>」（「日本三大火祭り」の一つ）の準備を  
させていただけであった！私のような、詣で心のない？者以外は、訪れないの  
であろう？！

ちなみに、「霧島神宮」は、流石に著名な神社であり、参拝客は物凄い数で  
あった（車の渋滞も凄かった！）！



次に、下の写真は、福岡市早良区にある  
「吉武高木遺跡」の一画である（現在は、国  
史跡で、「やよいの風公園」として整備？され  
ている！）。

実は、ここには、弥生時代最大級の大型  
建物跡があり、当時の王墓？から（も？）、  
「鏡・剣・玉の三点セット」が出土してお  
り、後の「三種の神器」の発祥の地らしい  
のである！

その「古代史の旅」は、別シリーズで書き記してきているが、最近の関心事  
（謎の中心？）は、この福岡県にあると言ってもよい！ただし、それらを示す？  
実際の遺跡は、私の予想（期待！）とは無関係に整備されており、そのギャッ  
プに驚かされている面もある？！

要は、そこの立地だけが、私の興味となってしまうだけでもあるが、それは  
それで、今のところは、仕方がないことではあろう？！

- ・ 逍遙とは 名ばかりの それであれ  
おや  
父親としては 至福の時とも?!
- ・ 厄年は <sup>ろくじゅう</sup>60歳 過ぎれば ないらしい！  
それもそのはず 毎年がそれ？
- ・ 王墓の上に 何故か車道！  
わけ  
理由聞けば 保存には 好都合とか?!

（1月8日）

### 34 新たな年もそこそこに?!されど、そは、自然の妙味?と共にある?!

今日は、1月15日(水)である。既に、「鏡開き」(11日)も終わり、新年となって、半月が過ぎることになる!以前(1999年まで)は、この日が「成人の日」であったわけであるが(「ハッピーマンデー」により、今年は12日!)、それを祝う「成人式」も、週を跨ぎ、各地で展開されたようである!

「成人」の年齢が、22年4月から「18歳」に引き下げられるということだが(「民法改正」)、改めて「成人(一人前?)」とは何か、いつ、どのように祝われるべきかの議論も、それなりに白熱していくことであろう?!

「選挙権」の有無というものが、一つの基準となることは明らかであるが(既に引き下げられている!）、その公的認知と祝福を、社会全体が、いつ、どのように行うべきかという議論は、また別のものであるという、ある種?不可解な様相もあるわけである?!

まあ、そういうことは、ある意味どうでもよいことではあるが、要は、個々の新成人が、自らの存在を、どのように客観化し、一人前の人間として、どのように人生を送ればよいのかを、あくまでも内なる省察、決意として、考え、見出す(機会となる)ことが大事だということである?!

ただし、そのことが、今の世相の中で、どれほどの実効性があるのかと言え、かなりの疑問符がつくが、やはり「やらないよりは、やった方がいい!」というのが大方の筋かとも思われるので、結局は、そうした位相(レベル)での、当事者達の振る舞い方が問われるということである?!

単純に言えば、その意味・意義は、本人達次第であるということである?!



ところで、左の写真は、過日行った、例の「逍遙」の時のものであるが(散髪屋からの帰り!）、暮れなずむ、あるサトウキビ畑(以前住んでいた公務員宿舎の近く!)の一コマである。沖縄ではよく見かける光景であるが、サトウキビとススキのコラボ状態(単なる混在?)である!

お分かりのように(多分、分かると思う?)、上の方が「サトウキビの穂」、下の方が「ススキの穂」であるが、人間、否、無理して上記のテーマと関わらせれば、「新成人達」のコラボ(混在?)も、ある意味?そういうものであるようにも思える?!

ただし、どちらが、どのような人間(新成人)を表しているのかは、私には論断出来ないが(みなさんのご想像に任せるという意味!）、同じようで、実は同じではない?それぞれの個体(生き様?成長過程?)が、一応まとまって、そこに群生して(生き合って?)いるということである?!

聞くところによると、このような光景（自然現象）は、沖縄では稀に？あるらしく（だが、私の 30 年間では初めて！）、薄明るく中央で輝いている太陽を、空から伸びる、まるで人間の手のような雲が、双

したがって?、この自然現象?は、「瑞兆（めでたい兆し）」を示すものとされているらしく、その画を、多くの人に送れば、その人は、それだけ幸せになれるということらしい?!

- ・ ‘成人の日’ とは 何か？  
虚構とは言え 大事な日とは なり得る？！
- ・ キビとススキ 同種であるが 同じでなく！  
その違い 穂にも見えるか？！
- ・ ‘神’ はいる？！ こんなものが 目に入れば！  
ことほど左様に 自然は居す？！

68



### 35 今年も既に桜の季節！沖縄の春は、それで始まる！

今日は、1月21日（月）である。この数日間は、ここ沖縄でも、それなりの寒さが続き、やはり冬の季節を迎えていることが実感された！本土の方では、積雪が少なく、まさに暖冬（地球温暖化の進行？）のようでもあるが、流石にこれからは、しばらくは厳しい寒さ、雪の日があることではあろう?!

かなりの楽観主義かもしれないが、様々な四季の装いがあるのが我が国である?！それは、絶対に無くしてはいけない！もちろん、その冬の厳しい寒さや大雪が、そこに住む人達にとっては、まさに過酷な生活を強いるものでもあるであろうが、そのことも含めて、我が国の「四季」は必要不可欠なものであり、その風情が感じられるものともなるのである?!



ところで、左の写真は、久し振りに訪れた、近くの「森川公園」の桜である！毎年、この時期には、そのような桜の開花状況を見に、訪れるのではある！

いわゆる「寒緋桜」と呼ばれるものであるが、年が明けると、不思議にも？北部（名護近辺）の方から咲き始

めるようである！

ということで、沖縄の春は、この「寒緋桜」の開花から始まると言っても、過言ではない?！そう言えば、2月1日から、恒例のプロ野球キャンプも始まる！毎年のこととは言え、賑やかな沖縄となる！私も、最近は、楽しみの一つとしている！

ちなみに、現在（昨日から!）、またしても、独居老人の状態になっているが、体調が少し変である?！インフルエンザの予防接種は受けているので、単なる風邪の初期状況のようにも感じられるが、今月末（28日）は、これまた恒例の社会教育主事講習（B講習）で、寒い？東京（上野）に行かなければならない！

そして戻ってきたら、再び、沖縄会場での演習指導（1日半）も待っている！何とか、元気に頑張らなくてはいけない！

その社会教育主事講習（B講習）の関係であるが、過日（17日）、その受講者の「フォローアップ研修」が、糸満青少年の家で行われた。初めての試みであったが、担当者の心意気と、それに呼応した、元受講者の心の交わりが、私にしてみれば、この上なく嬉しいものであった！

宿泊までして、彼らとの再会を楽しんだ次第である（なお、このことについては、別シリーズ「教育協働への道（52）」に、その詳細を書いているので、是非そちらの方も読んで欲しいものである!）！





次に、左の写真は、最近は、よく訪れるようになっている、「嘉数高台公園」の西側斜面奥の、まさに、沖縄独特の「亀甲墓」が密集する所である！

何故、シャッターを切ったのか？直接の動機は、あまり覚えていないが、沖縄の人々の死者（先祖）に対する

思いの形を、改めて受け止めたということであろう？！

その威容（異様？）さ、部分的な新しさが、不思議なマッチングを示しているとも言えるが、こんな大きなものが密集している場所（墓地）は、めっきり少なくなってきた！

沖縄の生活文化も、かなり変容が進んでいるように思うが、今後、それらは、どのように推移していくのであろうか?!例の首里城再建の道も、予想以上に？進んでいるようである！

人は、何故、そうしたものに心を寄せるのか?!ただただ、頭の下がる思いではある！

- ・ 今年も咲いた <sup>さくら</sup>寒緋桜花！  
                     沖縄の春           それがなければ           始まらぬ?!
  
- ・ 人の思いと    交わりに    何故に喜ぶ?!  
                                     それが求めた    <sup>ゆえ</sup>形故?!
  
- ・ 亀甲墓！       そこにあるのは    いかなる思い?!  
                                     人が見る       <sup>しろ</sup>首里城も同じか?!

（1月22日）

### 36 「如月<sup>きさらぎ</sup>」に想う、人の思いや情け！新たな「春」を信じて！

今日は、2月1日（土）である。何と云うことであろうか？気がつけば、あつと言う間に2月（旧暦「如月<sup>きさらぎ</sup>」）を迎えた！

ちなみに、「如月<sup>きさらぎ</sup>」の読みの最も有力な説は、「衣更着」が転じたものだということであるらしいが、衣更着には、厳しい寒さに備え重ね着をする季節（衣を更に重ねる）という意味があるということである！

他にも、陽気が更に来る月だから「気更来」になった説、春に向けて草木が生えはじめるから「生更木」になった説もあるらしい？！

いずれにしても、新暦を採用している現在では、まだまだ厳しい寒さで、「春」を遠く感じるのが2月でもある！しかし、暦の上では、2月4日が「立春」である。

もしかしたら、古来の日本人の方が、季節に敏感だったのかもしれないともある！確かに、そうかもしれない！



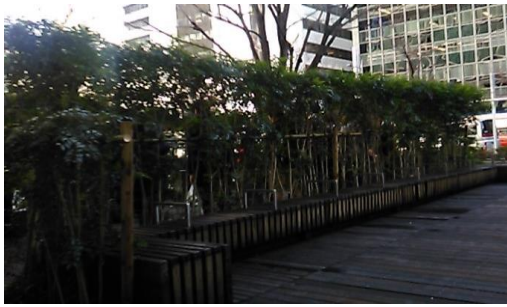
ところで、左の写真は、新春を迎えて、我が偉大なる先輩のHさんが、長年育まれてきた、二つの「歌声サークル」の合同祝賀会（歌い初め）？の様子である（25日）！

今年で10回目の節目を迎えるということであつたが、その一つのサークル（「フロイデ」※ドイツ語で「飲む」）の立ち上げに参画（協力）した私達夫婦と、これまた偉大な先輩のOさんも、特別ゲストとして呼ばれたのである！そして、久しぶりに、一緒に歌わせてもらった！

こうした「歌声サークル」は、ある年齢以上のの人にとっては、とても懐かしいもので（ただし、私は、その下の世代ではあつた？）、沖縄でもそうした文化は共有されていたようで、こちらに移住？されているHさんが、アコーディオン片手に呼びかけられたものである！

ご高齢であるにも拘わらず（本当である！）、その思いと行動には、ただただ驚かされる！青少年教育（野外教育）の大家でもあるHさんであるが（現在、あるNPO法人の理事長もされている！）、この沖縄での貢献？は、誰にも真似できないものであろう！

一方、次頁の写真は、先日（28～29日）訪れた「国社研（社会教育主事講習）」の帰りに遭遇した？、東京駅（八重洲口）からちょっと離れた「喫煙所」の光景である（左の囲み部分）！



残念ながら、中の様子が見えていないが、周りがすべて、小奇麗な植木に囲まれているのである！

双方の人にとっての、ぎりぎりの配慮と言えるが、片方の立場の人間にとっては、ある種の優しさをも感じられるものであった！

とにかく最近では、まったくの悪者扱いにされ（仕方がないが！）、特に都会では、そのための場所がないのであるが（隔離・幽閉？）、こうした配慮？に、何故か嬉しいものを感じたのである！

だが、例のオリンピック・パラリンピックを機に、こうした場所（配慮？）も無くなるのであろうか（そのように理解している！）？！

そんなことを思いながらの上京でもあったが、肝心の、「講習」を企画・実施している関係者の思い、そして、集まっている受講者や事例発表者のやる気・元気は、変わらず感じられた！しかし、他方で、世の移り変わりも、ひしひしと感じられた！

だが、いずれにしても、底に流れる人の思いや情けは、確実に残っている！否、新たに展開されようともしている？！私には、そのようにも思えた？！まだまだ捨てたものではないのである！

・ <sup>きさらぎ</sup>如月に          思い重ねる          <sup>われ</sup>今の我  
                                 いかなる次を                  見始めむ？！

・      アコーディオンと          歌声サークル！  
                                 その人の                  <sup>うごき</sup>思いと行動                  <sup>みごと</sup>驚嘆なり！

・      いつの世も          変わらずあるは          <sup>じょう</sup>人の情！  
                                 それがあるとぞ                  しかと受け止む？！

（2月1日）

### 37 今回は、何故か「境」に敏感に?!だが、それは、ある意味必然か?!

今日は、2月15日(土)である。再び気がつけば、もう既に2月半ばである!プロ野球の春季キャンプを見に行ったり、桜(緋寒桜)を見に行ったりと、別途、それなりに動いたからでもあろうが、本当に、あつという間の、日々の経過である!

そんな中だからからであろうが、この「逍遙記」へのモチベーションも、今一つ上がらない?いつものように、それなりの歩きをしているのではあるが、いつの間にかコースも限られてきて、それぞれで出くわす光景に、少々飽きがきているのかもしれない?!

そう言えば、11日には、教え子のF君の結婚披露宴があった。重い腰での?祝辞も行ったが(固辞したのであるが!）、圧倒的な賑やかさと時間に、結局は負けてしまった?!

意を決した思いが、どこかで散ってしまったということである(長くなったこともあるが、予期はされていた?)?!



ところで、左の写真は、1日から始まったプロ野球キャンプ地での、ある光景である!

場所は、横浜ベイスターズのキャンプ地宜野湾市の球場(アトムホームズ?球場)の脇(海浜公園中央広場)であるが、そこで催されていた「奄美の観光と物産展 in 沖縄」(2/1~2)

に、何故か、心を惹かれた次第である!

と言うのも、それが、『「奄美大島・徳之島・沖縄北部及び西表島」世界自然遺産登録を目指して」という目的のイベントであったからであるが、そこに、どんな思惑(利害?)が絡んでいるのかは分からないが、それに向かって、大島本島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島、そして、沖縄県北部の国頭村の人達(観光・商工関係者)が、力を合わせて、この場に臨んでいたのである!

彼(女)らの思い(目算もあろうが?)と労力(費用も?)に、改めて感動であった!

しかも、このような感動を覚えたからであろうが(ただし、本土からの?観客は、ほとんど素通りするだけで、定着していなかった!それは、そうであろう!キャンプを見に来たのであろうから!）、舞台での民謡歌手による、それぞれの島の出し物を聞けば、今では、鹿児島県と沖縄県に分かれてはいるが、やはり、例の「琉球弧の繋がり(文化圏)」が色濃く感じられた。

また、別シリーズ(「教育協働への道」53)で紹介した与論島のTさんのこと

もあり、こうした「境」を越えた動き（一体感・協力関係）が、改めて意味のあるものに思えたということでもある！



一方、左の写真は、別の日に訪れた、例の「岬公園？」での一コマである！この公園は（も？）、前にも述べたとは思いますが、捨て？猫の楽園ともなっている所であるが、心優しい人達が、彼（女）らを保護し、ある人は、ご覧のように、一斉に食事を与えているのである！

見事な？食事風景だと思って、シャッターを切ったのであるが、ある意味何とも複雑な気分でもあった?!

考えてみれば、ここは、その猫を置き去りにした（棄てた？）人達と、そのことを憐れんで世話をする（可愛がる）人達の、言わば「境」の場所（突端）であるわけであるが、「県境」等とは違って、その実体は浮遊している?!

一言で言えば、そこには、「無責任と慈しみ」が混在しているということであるが、我が人の世は、まさに、そういうものの集合体でもあると言える?!

何が、どのように、それらを作り出しているのかであるが、現実には、それらは払拭出来ない?!せめて、そのことに思いを馳せる人達が、報われる世であれ?!

- ・ 祝辞に託<sup>かこつ</sup>けた 我が思い！  
結局は届かぬ 人達もいる！ 仕方ない?!
- ・ 何でもそうだが ‘境’ はある！  
だが それを外せば 良きこと多々ある?!
- ・ ペットと人間<sup>ひと</sup> その境に 無責任と慈しみ?!  
されどそれ自体は 浮遊する?!

（2月15日）



### 38「元号」に、自らのアイデンティティがある?!それは、何故か?!

今日は、2月23日(日)である。そして、新しい天皇の誕生日でもある! 当然ながら、私は、昭和、平成、そして令和の、三つの時代の天皇誕生日を経験するわけであるが、それが長かったせいもあるが?、昭和の「4月29日」が、どうしても(現、そして先の天皇には申し訳ないが?)、そのような気がする?!

まだまだ私などが、正真正銘?の「昭和の人間」と自慢?するわけにはいらないが(戦前・戦中、そして、あの「団塊第一世代」が、その時代を生きた、創り上げたという意味!)、どうしても、その「昭和」が頭を過るのである!

しかるに、私にも、その「昭和の人間」を自認することには、かなりの資格(条件?)があるとは言える?!

37年という年月の長さもさることながら(計算してみた!)、その時代がもっていた?、ある種の「泥臭さ」(格好いいもの・便利なものへの戸惑い、ぎこちなさ?)、「頑張りや厳しさへの信頼」(貧乏や困難からの脱却?)、そして何より、右肩上がりの経済発展の中にあっても、その「豊かさ」や「正義」、さらには「優しさ」といったものが、「普通にあった、否、絶対にあった!」というような価値観(感覚)を持っている(と思える?)からである?!

ただし、ここが重要であるが、そうした時代状況、価値観(感覚)は、当然ではあるが(残念ながらと言おうか?)、かなり変容してしまった(あるものは、無くなってしまっているかもしれない?)?!

少なくとも、私自身はそう思っているのであるが(だから、「昭和の人間」とされるのでもあろうが!)、いずれにしても、やはり、「世代(中心)」は、そうした「順送り」をしていかなければならないのである!問題は、その「順送り」を、各自(双方)が、どのように行う(否、行える?)かであるが、そこに、かの「喜悲劇?」も生じるのでもあろう?!



ところで、左の写真は、ある日の夜、例のベランダから撮った夜空の一コマである!写真からは分からないであろうが、満月と周囲の雲の、ある種の「閉せめぎ合い」でもあった?!

一時期沖縄は、寒い日があったが、その後は、連日のポカポカ陽気である!例の「新型コロナウイルス」の感染騒ぎで、この地も大変であるが(学校の行事等にも大きな影響を及ぼしている!)、そこでの太陽と雲のそれも合わせて、何か似たような(だが、決して同じではない!)状況、メッセージにも思える?!





一方、左の写真は、先日訪れた「広島東洋カープ」のキャンプ光景である！

キャンプ地は、沖縄市の方であるので、例の「逍遙」を兼ねた歩きでは、これまでは行けなかったのであるが（遠過ぎる！）、別の用事（何のことはない！奥さんとの買い物？）があり、車で出かけていた

ので、遠回りして訪ねた次第である！

往年のスター選手は、当然のようにいなかったが、「赤ヘル軍団」と呼ばれる、すべて「赤のいで立ち」に、ある種の懐かしさを感じたわけでもある（ただし、俗に言う「ファン」ではない?!）！

ちなみに、以前にも書いていたかとは思いますが、実は私は、中学、高校時代は（大学でも一時期！）、毎日が野球漬けの、いわゆる「野球少年」であった！

そう言えば、そのカープの、広島市民宿願？の初優勝は、確か昭和 50 年であった?! 当時はまだ、広島で青春時代？を謳歌していた私であるので、その歓喜の光景は、今でも脳裡に鮮明に焼き付いている！

それも、一つの、「私のアイデンティティ」となっているということである?! だが、正直に言えば、あの「広島」は、私の追憶の中でのみ生きているとは言える?!

・ 雲と月との 闘ぎ合い?!

太陽<sup>ていだ</sup>とのそれとは 趣き違う！ そこに何ある?!

・ キャンプ地を 訪ねる訳は もう一つ?!

過ぎ去りし日々 重ねるため?!

・ ‘追憶’ の 中でのみの 彼の地とて

やはりそれは 我が<sup>み</sup>歴史の一つ?!

（2月23日）

### 39 せっかくの「春」だというのに、憂鬱な日々も並行する?!

今日は、3月5日（木）である。それなりに忙しかった？とは言え、気がつけば、既に3月弥生！そうこうしているうちに、今回もまた、あっという間に新しい月を迎えているということである！世間では、年度末のそれでもある！

しかしながら、とにかく今、世間では、まさに世界規模？となった、件の新型コロナウイルス感染症の猛威が拡散し、予想だにしていなかった様々な事態が起こっている！本当に信じられない光景である！

まだまだ（これからも？）続いていくのであろうが？、可能な限り早く好転に向かって欲しいものである！

そんな中、沖縄は、もう既に春を通り越して夏？を迎えているが（ただ、今日は少し肌寒い、小雨日和となっているが！）?!、何故か、最近では、このコーナーの記事作成のペース（意欲？）が、かなり低下している！

まるで、月日の経過に追い立てられているようでもある?!「逍遙」の体裁をとってはいるが、どこかに心の余裕とか、思いを巡らすものの無さに気づいている「もう一人自分？」がいて、結果的に、両者？の妥協の中で、何とか記事アップを続けているようにも、思えたりしている次第である?!

ある種の終わり？なのかもしれない?!



ところで、左の写真は、過日訪れた宜野湾市の「トロピカルビーチ」（以前も紹介した!）の一角である！

空も、海も、まさしく夏の風情であり、利用客は、平日でもあったため、ほとんどいなかったが、何故か開放感漂う時空であった！

これが、本来の沖縄なのである?!

だが、この沖縄も、件の騒ぎの中で（もう一つ、別な原因も先行しているが!）、大変な状況となっていることは周知の通りである！本当に、外国（特に、二つの国!）からの観光客が見えないのである！

このビーチ自体は、その影響はあまりないと思うが、その被害は、それこそ甚大であるということである！

一方、次頁の写真は、最近、ほとんど？いつも通っている「比屋良川公園」（「嘉数高台公園」の登り口付近）の管理事務所の一角にある、「オオゴマダラ（蝶）」の飼育コーナー（ガラス張り）の光景である！

ここも、もう何度も通っている所であるが（近道でもあるので!）、直接管理事務所には用もないので、ほとんど頓着していなかった私であるが、何故か今回、見つけてしまったのである！



そう言えば、それ以前、その場所で、若い母子連れが、何かを見ていたようにも思う?! 実は、それが、この「オオゴマダラ」であったのであろう?!

その「オオゴマダラ」は、この沖縄に、好物?の「ホウライカガミ」という植物（キョウチクトウ科）が豊富にあり、至るところで飼育が行われているということを聞いたことがある! 実際、何か所かで、その証拠?を見たこともある!

日本最大級の蝶で、我が国では、「喜界島」「与論島」以南の地で棲息しているらしい。私は、幼い頃、九州（唐津）で見たような記憶もあるが、また違っ

た種類かもしれない?!とにかく、綺麗な蝶であることに変わりはない! 最後になるが、一昨日、3カ月に一度の血液検査（糖尿病関係）に行った! 前回、数値も改善し、今回はさらなる成果を期待していたのであるが、あにはからずや、再び元の悪い数値に戻ってしまった!

いわゆる「運動」も、今回は、歩きのキャンプ地巡り等も入れて、それなりに行ったつもりであるが、本当に厄介な（しぶとい?）奴?である!

次回（6月）は、再び何とか、挽回せねば?!ただし、その前に、新型コロナが終息せねば!

- ・ 再び あっという間の 三月弥生!  
ただそれどころではない 新型コロナ!
- ・ オオゴマダラ こんなところに 羽根を広げる?  
やはり開放された 大空がよい?!
- ・ 何とも厄介で しぶとい奴!  
だが 何の因果で それと闘う?!

（3月5日）

#### 40「眺望」から「逍遙」へ、そして最後は？、やはり「交流」へ?!

今日は、3月14日（土）である。現在、件の「新型コロナウイルス感染症」の世界的拡散（WHOは、とうとう「パンデミック（世界的大流行）」の烙印？を押してしまった！そして、我が国では、「非常事態宣言」も出されそうである？）によって、政治、経済、そして教育の世界にも、未曾有の大混乱（パニック！）が生じているが（あのオリンピック開催への危惧もある？）、本当に日本は、否、世界？はどうなっていくのであろうか?!

幸い？沖縄は、その後新しい感染者も出ていなくて（3人で済んでいる！）、学校の休校も解除されることになっている（G市は16日から！）！とにかく、このまま終息していけばよいのであるが、全体としてはそうもいかないかもしれない?!

そんなこんなで、今社会全体が混乱、そして、沈滞ムードに陥ってしまっているわけであるが、先号（39）でも仄めかしていたように、私の方も、それに呼応するかのように？、このコーナーの作成意欲が下がっている?!

冷静に自己分析すると、初期の目的？は果たしたということであるが、ある思いもあって（多少複雑ではあるが？）、次なる自分の姿・心情を（あるはずである！）、新たな形で発信？していきたいということであろう?!

一言で言えば、これまで、「眺望（記）」、そして「逍遙（記）」ということをやってきたわけであるが、やはりそこに、私がこれまで、ここ沖縄で実践？してきた「交流」というものになってきていた？ことに対する、新たな（だが最後の？）挑戦を始めたいということである?!やはり、それがなくては私ではない?!そして、何事も始まらない?!



ということで、左の写真は、画像は悪いが、4年前に引っ越してきた、現在の我が家の二階ベランダからの眺望である！

前方に広がる「東シナ海」、正確には、それが入り込む「湾」の光景であるが、この眺望が気に入り、この家を取得し、そしてそこから、

この記事作成が始まったわけである！

振り返れば、この光景があったればこそ、あの鬱屈とした、そして悔しい？日々を、それなりに乗り切れたようにも思う?!

もちろん天気の良い日ばかりではなかったが、台風の襲来時を含めて、実に様々な表情を見せる、その海（湾）の移り変わりを書斎の椅子からも眺め、そこに自らの来し方を映し、そしてまた、そこに拙い短歌も添えてきた！

